2015

消防衛星等原

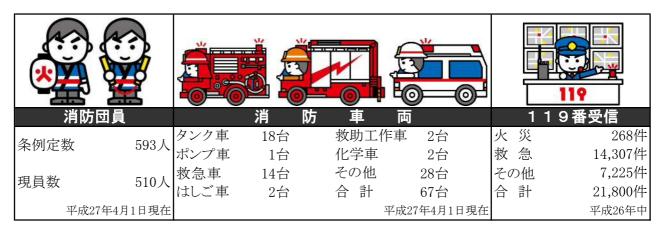
第65号



一宮市消防本部

一目統計









一宮市民憲章

平成 19 年 3 月 28 日制定

わたしたちのまち一宮市は、木曽の清流と豊かな濃尾平野にはぐくまれ、先人のたゆまぬ努力により、繊維を中心として発展してきました。

わたしたちは、このまちの市民であることに誇りを持ち、互いに手をたずさえて、未来へはばたく「心ふれあう躍動のまち一宮」をつくることをめざし、ここにこの憲章を定めます。

1. **い**のちを大切にし、

だれもが安心して暮らせる 福祉のまちをつくります。

1. **ち**きゅうを愛し、

自然も人も共生できる 住みよいまちをつくります。

1. **の**びやかに青少年が育ち、

個性を生かす 教育と文化のまちをつくります。

- 1. みどり豊かなふるさとを守り、
 - 活力ある産業のまちをつくります。
- 1. やさしさと思いやりに満ち、

夢と希望があふれるまちをつくります。

はじめに

本市消防は、関係機関の皆様の暖かいご支援とご協力により、着実に発展を遂げ、 地域に密着した防災機関として、市民の皆様からも多大なる信頼と期待を受け、 時代とともに変貌する各種災害に対し、的確に対応できる消防体制の充実 強化に努めてまいりました。

しかしながら、御嶽山噴火災害をはじめ、突発的に起きる自然災害、都市化に伴い複雑化していく災害、また、放射性物質の流出など多様な事案が発生している中、単一の自治体での対応の枠を超え、複数の自治体同士の相互応援による対応が求められてきています。

また、人為的に発生する事故、国際的なテロリズムによる災害の発生が 危惧される中、市民の生命・財産を守る消防の役割はますます重要となり、 消防体制のさらなる充実強化が必要となっております。

このような環境下において、本市消防といたしましても消防体制のさらなる充実強化を目指し、新市の基本理念である「安心・元気・協働」のもとに、 心ふれあう、安全、安心なまちづくりに努力する所存であります。

本書は、平成27年4月1日現在における消防体制及び平成26年中の火災等の実態を取りまとめて収録したものであります。

ご高覧を賜り、本市消防行政の一層の飛躍に向け、皆様のご理解を深めていただくための一助としていただければ幸いと存じます。

平成 27 年 7 月

平成27年度 全国統一防火標語

無防備な 心に火災が かくれんぼ



平成26・27年度 一宮市防火標語

消えたかな ぼくらみんなが 消ぼうし



一宮市住宅用火災警報器の設置促進標語

あつ!!火事だ!!

「にげろ」のめざまし じゅうけいき



目 次

I	総	括	i																					
	市	\mathcal{O}	概	要								 								 				1
	_	宮	市	\emptyset	人	П	•	世	帯	数		 												2
	消	防	機	関	\mathcal{O}	配	置					 								 				3
	消	防	\mathcal{O}	あ	ゆ	4						 								 				4
	消	防	\mathcal{O}	主	な	行																		
	消	防	情	勢	\mathcal{O}	推	移	•			• •	 			 •		•	 •	•	 				8
	消	防	本	部	•	消			\mathcal{O}															
	消	防	本	部	•	消			\mathcal{O}															
	消	防	寸	\mathcal{O}	組	織																		
	消	防	本	部	•	消			\mathcal{O}															
	消	防	寸	\mathcal{O}	庁	舎																		
	消	防	本	部	•	消			車															
	消	防	寸	車	両	\mathcal{O}	-	-																
	消	防	音	楽	隊	\mathcal{O}		-	み															
	消	防	音	楽		\bigcirc																		
	消	防	音	楽	隊	0)	活	動	状	況	•	 		 •	 •		•	 •	•	 	•	•	. 2	2
Π	総	務																						
Π			予	算	の	推	移					 					•	 •		 			. 9	2 3
Π	当	初				推成																		
Π	当決	初算	額	ک		成	\bigcirc	推	移			 						 •	•	 			. 4	2 3
П	当決消	初算防	額職		構 の	成配	\bigcirc	推				 								 			. 2	2 3 2 4
П	当決	初算	額職職	と員	構 の	成	の置齢	推	移 			 	· · · ·							 			. 6	2 3 2 4 2 6
П	当決消消	初算防防	額職職	と員員	構 の の	成配年	の置齢続	推 年	移 数			 		 		· · · ·		 		 			. 62	2 3 2 4 2 6 2 6
П	当決消消消	初算防防防防	額職職職	と員員員員	構ののの資	成配年勤格	の置齢続等	推一一年保	移 数有	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·····································	 		 	 	 		 		 			. 64	2 3 2 4 2 6 2 6 2 7
П	当決消消消消消	初算防防防防防	額職職職職職	と員員員員員	構ののの資教	成配年勤	の置齢続等研	推一一年保修	移数有状		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 		 		 		 		 				2 3 2 4 2 6 2 6 2 7
П	当決消消消消消災	初算防防防防防害	額職職職職職防	と員員員員員止	構ののの資教・	成配年勤格育	の置齢続等研!	推一一年保修一	移数有状		·····································	 		 				 		 			. 2	2 3 2 4 2 6 2 7 2 8
П	当決消消消消消災	初算防防防防防害全	額職職職職職防管	と員員員員員止理	構ののの資教・・	成配年勤格育.	の置齢続等研	推一一年保修	移数有状		·····································	 		·				 						22 3 22 4 22 6 22 7 22 8 22 9
П	当決消消消消災安消	初算防防防防防害全防	額職職職職防管協	と員員員員員止理力	構ののの資教・・者	成配年勤格育	の置齢続等研 彰	推一、年保修・・・・	移数有状		·····································	 		·				 · · · · · · · ·				· · · · · · ·		2 3 4 2 4 2 6 2 6 2 6 2 6 2 6 2 6 2 6 2 6 2
	当決消消消消災安消施	初算防防防防防害全防設	額職職職職防管協・	と員員員員員止理力装	構ののの資教・・者備	成配年勤格育表充	の置齢続等研 彰	推一一年保修	移数有状		·····································	 		·				 · · · · · · ·				· · · · · · ·		2 3 4 2 4 2 6 2 6 2 6 2 6 2 6 2 6 2 6 2 6 2
	当决消消消消災安消施 通	初算防防防防害全防設 信	額職職職職防管協·	と員員員員員止理力装	構ののの資教・・者備	成配年勤格育表充	の置齢続等研 彰実	推一一年保修事	移数有状業									 						2 3 2 4 2 6 2 6 2 7 2 8 2 9 2 9 3 0
	当决消消消消災安消施 通	初算防防防防害全防設 信	額職職職職防管協·	と員員員員員止理力装	構ののの資教・・者備系	成配年勤格育表充 象 統	の置齢続等研彰実 図	推一、年保修・・・・事	移数有状業															2 3 4 2 4 2 6 2 6 2 7 8 2 2 9 9 3 0 3 1
	当决消消消消災安消施 通 指無	初算防防防防防害全防設 信令線	額職職職職防管協・	と員員員員員止理力装 ち設設	構ののの資教・・者備系・系・	成配年勤格育表充	の置齢続等研・・彰実 図・	推 年保修 事	移数有状業	状況														2 3 4 2 4 2 6 2 7 2 8 2 9 2 9 3 0 3 1 3 2 3 2 9 3 1 3 2 3 1 3 2 3 1 3 2 3 1 3 2 3 1 3 2 3 1 3 1

	月	別	1	1 9	番	受	信	状	況						 					 . ;	3 4
	携	帯	_	話							1 9										
	月	別	気	象	状																
	_	宮	市	\mathcal{O}	警	報	•	注	意	報	発	表	基	準	 			 •		 • ;	3 6
IV	消	防	<u>寸</u>	l																	
	消	防	寸	\emptyset	現	況									 						3 7
	消	防	寸	及							状										
	消	防	寸	\mathcal{O}																	
	年	報	酬	額											 					 ٠ ;	3 8
	費	用	弁	償											 					 ٠	3 8
	消	防	寸	員	\mathcal{O}	退	職	状	況						 			 •		 • ;	3 8
	消	防	寸	員	\mathcal{O}	新	任	状	況						 			 •	•	 ٠	3 8
	消	防	寸	員	\mathcal{O}	職	業	構	成	کے	就	業	形	態	 			 •		 ٠ ;	3 8
	消	防	寸	員	\mathcal{O}		齢														
	消	防	寸	員	\mathcal{O}	勤	続	年	数	•					 			 •		 ٠,	4 0
V	予	防																			
	火	災	予	防	普	及	活	動	状	況					 					 ٠,	4 1
	幼		•			•					ク										
	街	頭	消	火	器	設	置		況						 					 ٠,	4 2
	街	頭	消	火	器	火	災	使	用	状	況				 					 ٠,	4 3
	查	察	対	象	物																
	中	高	層	建	築	物	数								 				•	 ٠,	4 5
	各	種	届	出	件	数									 					 ٠,	4 6
	用	途	別	同	意	建	築	物	数	•					 			 •		 ٠,	4 7
	危	険	物	施	設	数	•								 				• (٠,	4 8
	指	定	数	量							危										
	危	険	物	施	設	\mathcal{O}	設	置	•	変	更	許	可	等	 			 •	•	 ٠,	5 0
	タ	ン		検	査																
	危	険	物	施	設	届	出	等	状	況					 	 •	 •	 •		 ٠	5 0
VI	火	災																			
	水	5 555	\mathcal{O}	概	沪										 					 . ,	5 1
				因																	
	Щ.	1/																			
		火物													 						
	出建連	物	用	途	別	•	原	因	別	件	数									 ٠,	53

™ 救急・救助

過	去	1	0 4	F F	間(りま	汝 糹	急消	舌 !	動壮	犬 ;	況			•		•	 •		•		 •	•	•	6	7
曜	日	•	月	別	救	急	出	動	件	数							•	 •			•		•	•	6	8
曜	日	•	月	別	救	急	搬	送	人	員							•	 •		•		 •	•	•	6	9
地	区	別	救	急	出	動	件	数	•								•	 •					•	•	7	0
地	区	別	救	急	搬	送	人	員	•								•	 •					•	•	7	0
現	場	到	着	所	要	時	間	別	救	急	出	動	件	类	汝		•			•		 •	•	•	7	1
収	容	所	要	時	間	別	救	急	搬	送	人	員					•			•		 •	•	•	7	1
年	齢	区	分	•	傷	病	程	度	別	救	急	搬	送)	/	員	•	 •	•	•			•	•	7	2
救	急	高	度	化	\bigcirc	推	移										•							•	7	3
救	急	隊	員	\mathcal{O}	行	2	た	応	急	処	置	等	件	梦	文		•			•		 •	•	•	7	4
高	速	道	路	\mathcal{O}	救	急	活	動	状	況							•	 •						•	7	6
応	急	手	当	等	\mathcal{O}	普	及	活	動	状	況						•		•			 •	•	•	7	7
救	助	活	動	状	況												•	 •		•		 •	•	•	7	8
月	別	救	助	出	動	状	況										•							•	7	9
過	去	5	年	間	\bigcirc	救	助	活	動	状	況	•					•	 •	•				•	•	7	9
救	助	訓	練	等	実	施	状	況	•								•	 •		•			•	•	8	0





総括

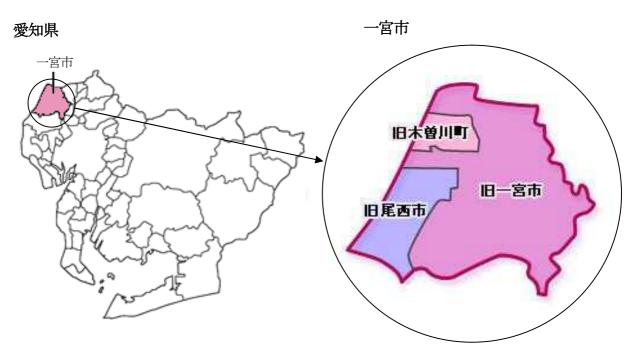
市の概要

一宮市は、広大な濃尾平野のほぼ中央に位置し、温和な気候、風土に恵まれ、早くから発展 してきました。

大正10年9月1日に市制を施行、昭和15年に葉栗村、西成村と合併して市域を拡大し、近 代都市としての形態を整えるに至りました。

そして、昭和30年1月に丹陽村と浅井町、4月に北方村、大和町、今伊勢町、奥町、萩原 町、千秋村とそれぞれ合併し、さらに平成17年4月に尾西市、木曽川町と合併し現在の113.82 kmの都市が実現しました。

平成27年4月1日現在、人口386,410人、世帯数152,651世帯となり、市北部から西部へ と約18キロメートルにわたって接する木曽川がはぐくんだ豊かな自然や、これまで蓄積され た歴史・文化を礎に、安心・元気・協働の基本理念のもと、「木曽の清流に映え、心ふれあう 躍動都市 一宮」を将来像としたまちづくりを目指し躍進を続けています。



■位

■面 **積:** 113.82k m²

東西 15.3km、南北 13.3km

■人 口:386,410 人

> 男 189,200 人 女 197, 210 人

■世帯数: 152,651 世帯 ■人口密度: 3,395 人/k m²

(平成27年4月1日現在)

置:北緯35度18分、東経136度48分 ■Location: Lat. 35°18′N&Long. 136°48′E

■Area: 113.82k m²

East-West: 15.3km, North-South: 13.3km

■Population: 386, 410 people;

Male: 189, 200 people, Female: 197, 210 people

■Number of households: 152,651 households

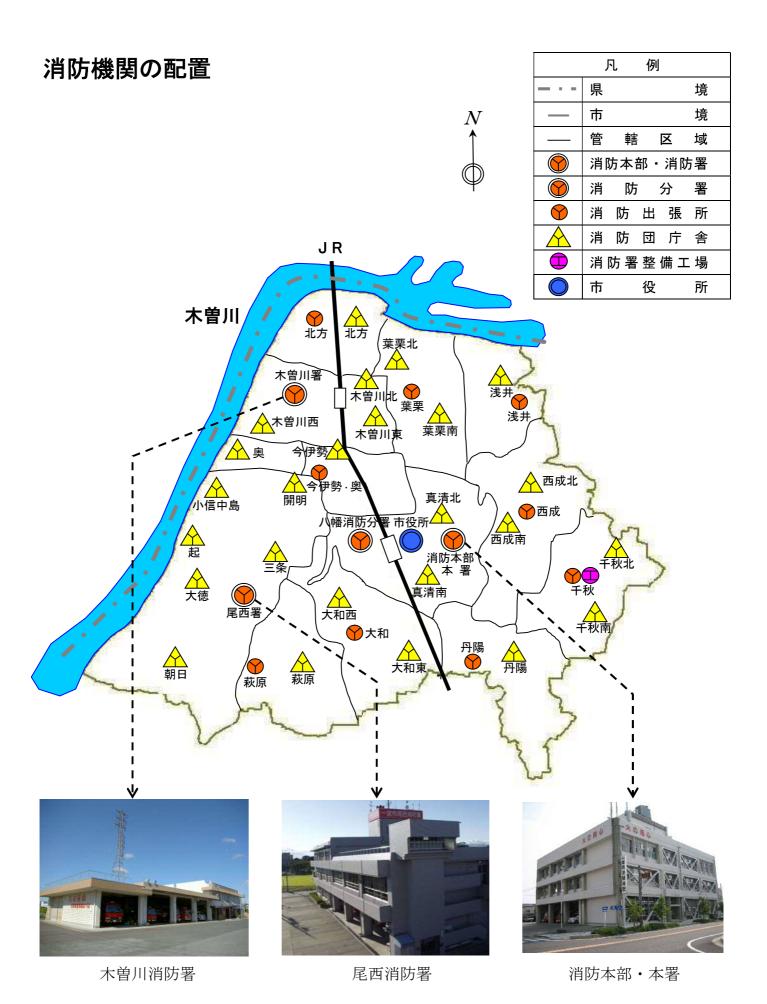
■Population density: 3,395 people/k m²

(As of April. 1. 2015)

一宮市の人口・世帯数

平成27年4月1日現在

12,	/\	₩. ₩.		人口	以27十4万1日郊在
区	分	世帯数	総数	男	女
合	計	152,651	386,410	189,200	197,210
宮	西	4,670	11,267	5,397	5,870
貴	船	4,958	12,050	5,835	6,215
神	Щ	6,922	15,732	7,684	8,048
大	志	2,267	5,179	2,459	2,720
向	Щ	3,823	9,046	4,431	4,615
富	士	4,101	9,587	4,649	4,938
葉	栗	6,416	17,166	8,434	8,732
西	成	13,606	35,044	17,224	17,820
丹	陽町	11,331	28,033	14,151	13,882
浅	井町	7,960	20,597	10,048	10,549
北	方町	3,711	10,010	4,892	5,118
大	和町	17,251	42,212	20,700	21,512
今 伊	勢 町	10,666	26,305	12,914	13,391
奥	町	5,312	14,248	6,902	7,346
萩	原町	7,278	19,019	9,194	9,825
千 ラ	秋 町	6,406	17,512	8,588	8,924
į	起	1,369	3,393	1,636	1,757
小信	中島	4,108	10,952	5,369	5,583
三	条	5,199	13,200	6,377	6,823
大	徳	3,976	10,472	5,141	5,331
朝	日	4,894	13,049	6,387	6,662
開	明	3,269	8,429	4,129	4,300
木曽	川町	13,158	33,908	16,659	17,249



消防のあゆみ

(一):旧一宮市消防本部 (尾):旧尾西市消防本部 (木):旧木曽川町消防本部

昭和23年 3月(一) 消防組織法施行により一宮市消防本部を創設し、従来の常備消防部を消防署に昇格 昭和23年 3月(木) 消防組織法施行により警察機関から分離した消防団発足 昭和25年11月(一) 消防庁舎(旧庁舎)が新柳通1の29地内(現本町1丁目)に完成 昭和25年12月(一) 市を縦断する東海道線の西部地区警備体制強化のため、八幡出張所を開所 昭和30年 1月(尾) 中島郡起町と朝日村が合併し市制を施行、尾西市が誕生と同時に尾西市消防団を設 置、1団制6分団、消防ポンプ自動車6台、団員195名で発足 昭和30年 4月(尾) 尾西市に中島郡今伊勢町開明地区を編入、境界変更に伴い消防団を再編、1団制7 分団、消防ポンプ自動車7台、団員227名で再発足 消防署に救護隊を新設し救急業務を開始 昭和33年 9月(一) 昭和33年10月(尾) 市総務課に中短波無線電話を設置 昭和35年 4月(一) 奥出張所を奥町字下口西地内に開所 昭和35年 9月(尾) 市総務課に職員7名をもって常備消防体制が発足 昭和35年10月(尾) 尾西市消防本部設置条例を制定 萩原出張所を萩原町萩原地内に開所 昭和35年12月(一) 昭和36年 9月(一) 浅井出張所を浅井町東浅井地内に開所 東部出張所を千秋町佐野地内に開所 なお敷地内に整備工場を併設し、業務を開始 消防本部職務規則を制定し救急業務開始 昭和37年 4月(尾) 南部出張所を丹陽町猿海道地内、北部出張所を大字更屋敷地内に開所 昭和37年 9月(一) 昭和39年 3月(尾) 昭和35年制定の消防本部設置条例を廃止し、新たに消防本部・署設置条例を制定 昭和37年制定の消防本部職務規則を廃止し、新たに消防本部組織及び職務規則並 昭和39年 9月(尾) びに消防署職務規程を制定 消防庁舎が東五城地内に完成(旧庁舎) 昭和40年 6月(尾) 消防庁舎(本部・本署)が花祇通6丁目(現庁舎)に完成 昭和43年 4月(一) 昭和43年 4月(木) 政令指定により消防本部(署)発足・消防庁舎(旧庁舎)完成 昭和45年 2月(木) 救急車(兼広報車)を購入し救急業務開始 昭和53年 5月(木) 消防庁舎が黒田地内に完成(現木曽川署) 昭和55年 1月(一) 大和出張所を大和町苅安賀地内に開所 西成出張所を大字西大海道地内に開所 昭和57年 1月(一) 昭和57年 6月(尾) 消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を改正し、消防本部は庶務係、

昭和61年 1月(一) 今伊勢消防出張所を今伊勢町馬寄地内に開所 出張所の名称が変更され、南部出張所が丹陽出張所に、東部出張所が千秋出張所 になり、出張所の名称を「消防出張所」と改称

消防係、予防係の3係、消防署は警備第1・2係、通信第1・2係、整備係の5係

昭和62年 3月(一) 葉栗消防出張所を大字大毛地内に救急業務を主体として開所 昭和63年 1月(一) 消防署八幡消防分署に部隊を増強、東西の出動体制を確立 昭和63年12月(尾) 消防本部及び消防署の組織に関する規則・規程を新たに制定

平成元年10月(一) 大和消防出張所に救急隊を配置

平成元年11月(尾) 消防庁舎が西五城地内に完成(現尾西署)消防緊急通信指令施設(I型)及び消防団 緊急伝達システム運用開始

i	
平成 2年 3月	愛知県下広域消防相互応援協定締結
平成 2年 4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課を新設、従来の管理課を総務課と改称
平成 2年 5月	尾張西北部地区消防相互応援協定締結
平成 3年 4月(一)	北部消防出張所が北方消防出張所になり、北方町北方地内に開所 葉栗消防出張所に消防隊を配置
平成 4年 3月(一)	消防緊急通信指令システムを導入し、情報連絡体制を確立 市民への防災思想普及を目指し「一宮市民防災センター」を開所
平成 5年 3月(木)	消防緊急通信指令施設(I型)を運用開始
平成 5年 4月(尾)	消防本部の組織に関する規則を改正、消防署の組織に関する規程を改正
平成 5年 4月(一)	救急救命士1名、救急Ⅱ課程修了者3名により,高規格救急自動車の運用開始
平成 5年 8月(一)	救急救命率向上を目指し、生体情報伝送装置を導入
平成 7年 6月(一)	緊急消防援助隊発足 本市消防は救急部隊を編成登録
平成 8年 1月(木)	消防庁舎車庫増築、救急救命士2名により高規格救急自動車運用開始
平成 9年 3月(一)	浅井消防出張所を浅井町小日比野地内に移転
平成10年12月(一)	千秋消防出張所を千秋町佐野字加村地内に移転
平成11年 4月(一)	東海北陸自動車道の開通に伴い、葉栗消防出張所に救助隊を配置
平成12年11月(尾)	聴覚障害者用119番受信ファクシミリの導入
平成13年 4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課予防防災係を予防係と防災係に分化
平成14年 3月(尾)	消防緊急通信指令施設(I型)を更新
平成14年 4月(一)	千秋消防出張所に救急隊を配置し、救急隊7隊すべて高規格救急自動車で運用
平成14年 4月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則を改正し予防係を予防防災係、警備係を 火災救助係とした。
平成15年 4月(一)	緊急消防援助隊に消火部隊を編成登録、救急部隊を追加編成登録
平成16年 8月	市町合併を前に消防緊急通信指令システムを更新し、一宮市消防本部と木曽川町消防本部が共同通信運用開始
平成17年 4月	一宮市、尾西市、木曽川町との合併に伴い、一宮市消防本部はそのまま、旧尾西市 消防本部は尾西消防署、旧木曽川町消防本部は木曽川消防署に名称変更
平成19年 4月	一宮市消防団3団(一宮・尾西・木曽川)の報酬、費用弁償、階級を統一
平成20年 4月	一宮市消防団3団の連合を一団に統合
平成21年 4月	八幡消防分署に特別救助隊を、丹陽消防出張所に救急隊を配置 女性消防吏員を初採用 一宮市消防団第7方面隊(木曽川)を再編、30分団を26分団とした。
平成23年 4月	萩原消防出張所庁舎移転に伴い、救急隊を配置 尾西消防署に特別消防隊を配置
平成24年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新
平成24年 4月	一宮市消防団を再編、26分団を25分団、7方面隊を4方面隊とし、尾西地区の分団名 称を変更
平成25年 4月	今伊勢消防出張所と奥消防出張所の統合に伴い、今伊勢・奥消防出張所を開所し、 救急隊を配置
平成27年 3月	「一宮市民防災センター」を閉所

消防の主な行事

(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

平月	成26年	(17)	0+1/1111 + 1/0/21 + 0/10111/
月	日	行 事 名	実 施 場 所
4月	6日	一宮市消防団員任命式	消防本部
	14日	救命ボート取扱操縦訓練	木曽川左岸(奥町地内)
	17日	救命ボート取扱操縦訓練	木曽川左岸(北方町北方地内)
5月	3~5日	リバーサイドフェスティバル	138タワーパーク
	7•8日	潜水基本技術訓練	航空自衛隊小牧基地
	9日	消防本部安全衛生委員会	消防本部
	15・16日	第1回甲種防火管理新規講習会	消防本部
	16日	一宮警察署•一宮市消防本部合同災害警備訓練	木曽川左岸(冨田地内)
	18日	愛知県尾張水害予防組合水防・防災訓練	大口町総合運動場
	19・26日	救命ボート取扱操縦訓練	木曽川左岸(北方町北方地内)
	21日	3消防本部合同水難救助訓練	木曽川左岸(奥町地内)
	24日	貴船連区45町内会、富士連区36町内会防災訓練	天道公園
	28日	尾張西北部消防合同水難救助訓練	木曽川左岸(犬山市)
6月	8日	第14回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサート	一宮市民会館
	8日	今伊勢町(北地区)連区防災訓練	今伊勢小学校
	15日	第10回一宮市消防団警防技術発表会	大和南中学校
	16・17日	第2回甲種防火管理新規講習会	消防本部
	25日	危険物講習会	消防本部
	29日	浅井町連区防災訓練	浅井中小学校
	30日~ 7月1日	水難救助訓練(水面救助訓練)	木曽川左岸(北方町北方地内)
7月	22日	消防職員委員会	消防本部
	31日	少年消防クラブ員消防学校一日入校 (赤見・浅井南・千秋・富士小)	愛知県消防学校
8月	1 · 4 · 6 · 7 · 8 · 11 · 12 日	解体予定建物を活用した消防訓練	県営浅井住宅
	5日	一般教養「逆境こそが人を育てる」	消防本部
	9日	第59回愛知県消防操法大会	小牧市総合運動場
9月	1~4日	水面救助訓練及びDランク選抜隊員潜水訓練	一宮市尾西プール
	4・8・10・29日	潜水基本技術訓練	木曽川左岸(冨田地内)
	13日	救急フェア	テラスウォーク一宮
	14日	起連区防災訓練	起小学校
	14•15 ∃	警察•消防救助隊合同訓練	尾西庁舎
	16・17日	各種検索訓練	木曽川左岸(冨田地内)
	18日	愛知県防災航空隊•一宮市消防本部合同訓練	木曽川左岸(冨田地内)
10月	5日	木曽川町連区防災訓練	木曽川西小学校
	11日	きて・みて・たいけん消防21	138タワーパーク
	12日	神山連区防災訓練	神山小学校
	26日	奥町連区防災訓練	奥小学校
	26日	千秋町連区防災訓練	千秋中学校
	28日	消防本部安全衛生委員会	消防本部
	31日~ 11月19日	児童防火作品入賞作品展示	市民防災センター

月	目	行 事 名	実施場所
11月	2日	一宮市消防団観閲式	大徳小学校
	5日	警察等合同危険物車両路上立入検査	岐阜稲沢線(毛受地内)
	5日	女性消防クラブ指導者科入校(北方連区婦人消防クラブ)	愛知県消防学校
	7日	秋季火災予防運動消防訓練	バロー伝法寺店 V・drug伝法寺店
	9日	第36回一宮市消防音楽隊定期演奏会	一宮市民会館
	9日	北方町連区防災訓練	北方小学校
	9日	萩原町連区防災訓練	萩原小学校
	9日	開明連区防災訓練	開明小学校
	11・12日	救急隊員講習会	消防本部
	15日	緊急消防援助隊隊中部ブロック訓練	東海北陸自動車道川島PA
	16日	第11回愛知県尾張地区消防大会	豊明市文化会館
	16日	葉栗連区防災訓練	葉栗中学校
	17・18日	第3回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	19・20日	第4回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	21日~ 12月8日	児童防火作品入賞作品展示	中央図書館
	23日	大徳連区防災訓練	尾西消防署
	26・27日	第1回警防技術発表会	尾西消防署
	30日	三条連区防災訓練	三条小学校
12月	1・2・10・11日	航空自衛隊小牧基地潜水訓練	航空自衛隊小牧基地
	4•5∃	鉄道事故災害救助研修	名古屋鉄道犬山検査場
	7日	小信中島連区防災訓練	小信中島小学校
	12日	年末特別査察	名鉄百貨店一宮店
	15日	年末特別査察	ピアゴ妙興寺店
	16日	年末特別査察	一宮ニッケ コーナンプラザ
	16・17日	一般教養「火災現場の安全管理」	消防本部
	17日	年末特別查察	ピアゴ大和店 エディオン一宮本店 アピタ木曽川店
	18日	年末特別査察	テラスウォーク一宮 イオンモール木曽川
	19日	年末特別査察	バロー一宮西店
	29・30日	消防団年末特別警戒	各分団庁舎
平月	戊27年		
1月	10日	一宮市消防出初式	九品地公園競技場
	20・21日	第2回警防技術発表会・大隊訓練	尾西消防署
	23日	文化財防火訓練	堤治神社
	28日	緊急消防援助隊尾張ブロック集積訓練	尾西消防署•稲沢市消防本部
2月	4日	甲種防火管理再講習会	消防本部
	19・20日	一般教養「安全運転について」	消防本部
	25日	春季火災予防運動消防訓練	ピアゴ尾西店
3月	1日	消防団員研修会	消防本部
	5日	婦人消防クラブ街頭広報宣伝(貴船連区婦人消防クラブ)	イオンモール木曽川
	6日	婦人消防クラブ街頭広報宣伝(向山連区婦人消防クラブ)	iビル・名鉄百貨店一宮店前
	9日	車両構造講習会及び訓練会	IRセントラルタワーズ
	17・18日	ドライスーツ潜水訓練	木曽川左岸(冨田地内)

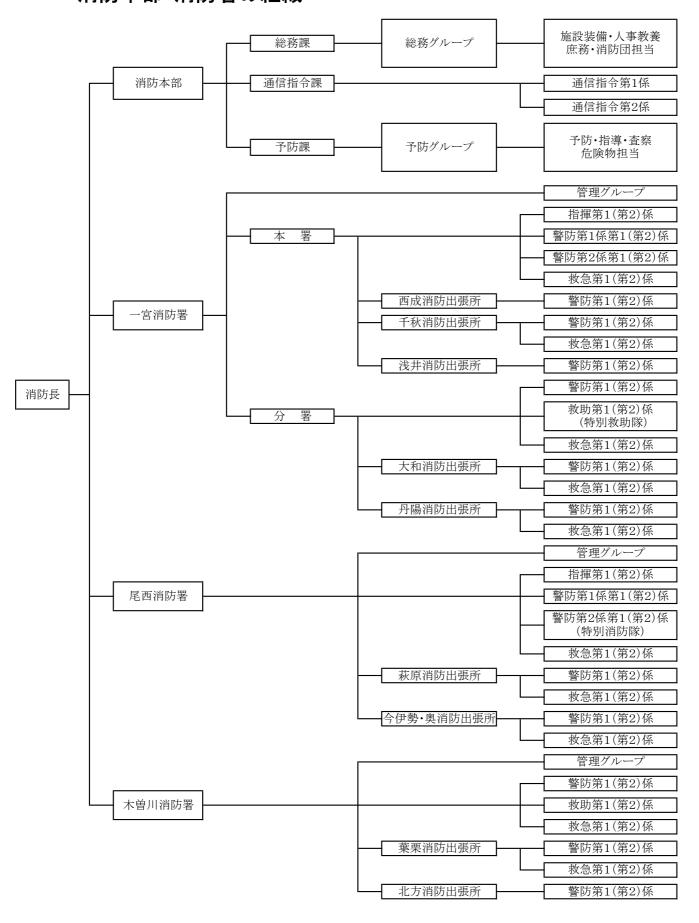
消防情勢の推移

		市	勢	NA.	職員(実員)	水禾	川(公設の	み)
	年別	人口	世帯	(消(年) 年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (消防吏員	その他	消火栓	防火井戸	防火水槽
	平成12年	278,869	91,295	2,491,621	251	1	2,707	378	272
旧	平成13年	279,115	91,796	2,635,074	256	1	2,746	378	273
宮宮	平成14年	280,778	94,064	2,730,724	269	1	2,794	374	274
市	平成15年	281,772	95,888	3,536,546	265	1	2,854	373	276
	平成16年	283,079	98,013	2,555,423	265	1	2,895	370	278
	平成12年	58,668	18,800	690,273	67	1	568	185	23
旧	平成13年	58,963	19,049	716,541	65	2	574	184	23
尾西	平成14年	58,932	19,264	587,803	63	3	581	185	23
市	平成15年	58,901	19,518	719,320	63	3	604	227	23
	平成16年	59,006	19,894	580,935	63	2	618	227	23
	平成12年	31,457	10,307	422,413	38	1	223	26	75
旧木	平成13年	31,576	10,440	435,446	38	1	223	26	75
曽	平成14年	31,848	10,666	410,040	40	1	224	26	75
川町	平成15年	32,065	10,834	535,346	42	1	224	26	75
	平成16年	32,340	11,052	403,905	44	1	224	26	75
	平成17年	377,216	133,401	3,642,931	364	3	3,784	621	373
	平成18年	378,725	135,786	3,453,484	367	2	3,818	619	377
	平成19年	381,036	138,435	3,552,094	369	1	3,841	615	377
	平成20年	383,308	141,180	3,532,269	368	1	3,868	613	377
	平成21年	384,706	143,259	3,420,599	368	1	3,886	612	377
宮市	平成22年	385,772	144,838	3,449,748	374	1	3,910	611	377
	平成23年	386,132	146,178	3,566,530	383	1	3,946	611	377
	平成24年	386,390	147,585	3,608,915	388	1	3,960	608	377
	平成25年	386,447	148,759	3,496,663	388		3,978	607	377
	平成26年	386,429	150,754	3,453,097	386	1	3,980	606	377
	平成27年	386,410	152,651	4,650,533	382	1	3,988	605	375

(備考)旧一宮市の市勢、職員、水利、消防団については、平成12年までは1月1日現在の数値、 平成13年以降は4月1日現在の数値

	火	災		救	急	救	助	消	防 団
火災件数	損害額 (千円)	死者	負傷者	出動件数	搬送人員	出動件数	救助人員	消防団数	団員数 (実員)
167	362,028	1	15	7,980	8,046	156	77	1	316
171	219,923	1	14	8,058	8,186	144	64	1	315
152	300,597	5	6	8,308	8,375	127	59	1	316
145	369,009	1	10	9,055	9,009	152	66	1	316
154	219,349	2	24	9,721	9,708	167	65	1	319
35	28,186	4	1	1,368	1,422	10	10	1	149
21	20,788		4	1,397	1,432	12	14	1	154
37	69,740	3	5	1,452	1,486	20	17	1	153
30	28,574		3	1,662	1,678	15	18	1	151
38	15,981		4	1,807	1,815	28	11	1	152
13	5,786	1	1	704	705	2		1	122
20	95,841		2	747	755	10	6	1	122
17	31,124	1	3	864	861	5	8	1	123
10	44,743		1	856	855	5	3	1	118
12	20,938			1,000	1,006	7	4	1	117
160	284,098	7	9	13,600	13,407	156	63	3	582
169	823,324	5	35	13,622	13,346	171	78	3	587
199	496,587	9	19	13,784	13,444	213	83	3	583
164	120,129	10	15	13,478	12,935	183	103	1	580
162	166,070	5	27	14,007	13,403	203	99	1	562
131	121,566	8	20	14,786	14,078	195	76	1	543
131	162,609	7	15	15,692	14,887	214	90	1	540
101	116,025	2	20	15,400	14,574	163	67	1	526
87	201,673	3	6	15,674	14,874	193	86	1	500
104	248,407	5	13	15,592	14,629	196	77	1	502
	_	_	_	_	_	_	_	1	510

消防本部・消防署の組織

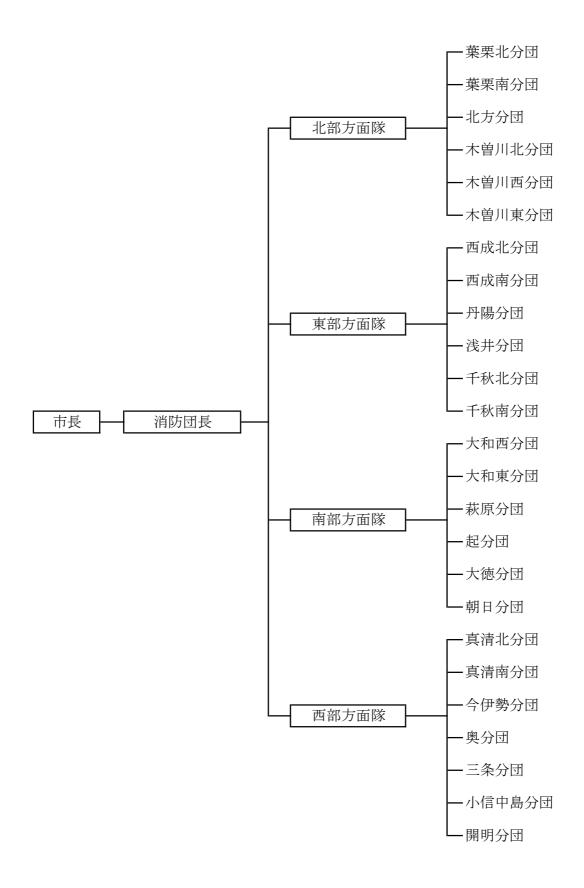


消防本部・消防署の事務分掌

				消防本部
				予算の執行及び経理、文書の管理、統計、消防総合計画の企画調整
				職員の人事及び教養、安全管理及び衛生管理、表彰
総	Ž	務	課	音楽隊、消防職員委員会、福利厚生
				消防団、水防、儀式、消防計画、施設、水利、車両及び装備の整備、消防相互応援
通	信	指令	課	災害受信、消防部隊の統制運用、消防通信の運用、消防防災に係る情報収 集及び伝達、無線局の管理、無線従事者の選任及び解任等、庁内情報シス テムの運用
				火災予防対策の企画及び調整、火災の調査及び火災調査技術の研究指導
				防火管理、査察基準の策定及び査察技術の指導、火災予防査察、防火対 象物の定期点検制度及び自主点検制度
予	ļ	防	課	建築確認及び許可の同意、建築物等の防火及び防災、消防用設備等の設置の指導及び検査
				危険物の規制及び指導、危険物製造所等の許認可及び検査、危険物取扱者及び危険物保安監督者等の育成指導、少量危険物及び指定可燃物等の規制、液化石油ガス等の保安、防火対象物の違反処理

	消 防 署
一宮消防署管理グループ	署の予算編成、所管施設及び車両の修繕、署の企画調整、災害の警戒及 び防御、救急統計、署員の救急教育及び訓練、救急の普及及び応急手当 指導
尾 西 消 防 署 管理グループ 木曽川消防署 管理グループ	火災予防条例等の届出、防火管理、火災予防査察、火災の調査、消防団、 施設及び車両の修繕
指揮第1(第2)係	災害の警戒及び防御、警防計画及び訓練、地理及び水利の調査研究、火
警防第1(第2)係	災予防査察、火災の調査、自主防災会、署の庶務、火災予防条例等の届出
救急第1(第2)係	救急、救助活動及び災害の警戒及び防御、火災予防査察、救助の統計、署
救助第1(第2)係	の設備の管理

消防団の組織



消防本部・消防署の庁舎現況

平成27年4月1日現在

m³) 建築年月 .99 S43.3
.99 S43. 3
.00 S56.12
.00 H10.11
并設 H10.11
.61 H9. 3
.54 H20.9
.67 S54.12
.01 H21.3
并設 S61.2
.70 H1.11
.45 H23.3
.59 H25.3
.00 S53. 3
.00 S62. 3
.30 H3. 3
223 23 34 34 37 71 21 38 36 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37

消防団の庁舎現況

平成27年4月1日現在

				延床面積	敷地面積	
	名 称	所 在 地	構造	(m²)	// (m²)	建築年月
				(111)	(111)	
	葉栗北分団	光明寺字山屋敷23番地5	鉄骨造平家建	67.82	238.73	H15.12
	 葉栗南分団	島村字下老光寺30番地	 鉄骨造平家建	69.60	621.61	H20.3
	714.1					
北	 北 方 分 団	北方町北方字中屋敷郷263番地		60.35	261.00	H5. 1
部		化分配分子个生放网203番地	以 月	00.55	201.00	110. 1
方面			鉄筋コンクリート造	100.00	100.04	
隊	木曽川北分団	木曽川町黒田字松山東72番地	2 階 建	126.00	188.24	H2. 3
			(外) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本			
	木曽川西分団	木曽川町玉ノ井字穴太部5番地	鉄筋コンクリート造 2 階 建	99.00	203.14	H14. 3
	木曽川東分団	木曽川町黒田八ノ通り139番地1	鉄筋コンクリート造 2 階 建	138.23	556.13	Н13. 3
	西成北分団	西大海道字本郷85番地10	鉄骨造平家建	60.35	300.49	Н6. 3
	西成南分団	大赤見字鷺目4番地1	鉄骨造2階建	97.94	252.00	H19.3
東	 丹陽分団	 平 島 3 丁 目 6 番 9 号	鉄骨造平家建	63.90	225.00	H13.12
部方	7 127 7	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
面隊	 浅 井 分 団	浅井町前野字郷西43番地1	44 	105.00	380.00	H4. 2
	众 开 刀 凹	及开門則對于鄰四40番地I	以 月	105.00	360.00	114. 4
	マイルルハ ロ	イイに関われて日本セクティマリン		07.01	147.01	1101.0
	千秋北分団	千秋町加納馬場字高須56番地1	跃 宵 造 2 階 建 	97.94	147.61	H21.2
	千秋南分団	千秋町小山字城41番地1	鉄骨造平家建	68.90	624.01	H18.2

	h 14	= + ∪6	-t# \/h	延床面積	敷地面積	油烧欠口
	名称	所 在 地	構造	(m^2)	(m^2)	建築年月
	大和西分団	大和町苅安賀字火口上1665番地	鉄骨造2階建	97.94	149.75	H14.12
	大和東分団	大和町妙興寺字高畑14番地1	鉄骨造平家建	56.00	221.86	Н3. 3
南部方	萩原分団	萩原町河田方字西狭間7番地3	鉄骨造平家建	68.90	495.00	Н17. 3
面隊	起分団	起字西茜屋27番地2	鉄骨造平家建	72.90	628.10	H25.12
	大徳分団	西五城字飛石北31番地1	鉄骨造平家建	97.20	611.00	Н16. 3
	朝日分団	明地字西阿古井80番地	鉄骨造平家建	72.90	490.86	H24. 3
	真清北分団	桜 3 丁 目 11 番 10 号	鉄骨造平家建	50.60	352.12	S62. 3
	真清南分団	大志2丁目7番9号	鉄骨造2階建	54.88	85.96	S58. 3
西西	今伊勢分団	今伊勢町馬寄字吉田浦56番地1	鉄骨造平家建	60.35	593.20	H12.12
部方面	奥 分 団	奥町字下口西23番地1	鉄骨造平家建	70.68	364.00	H22.2
隊	三条分団	三条字郷南西37番地1	鉄骨造平家建	72.90	381.95	H22.12
	小信中島分団	小信中島字中平10番地	補強コンクリート ブロック造平家建	126.00	237.60	S43.5
	開明分団	開明字杁西郭69番地1	鉄骨造平家建	97.20	736.12	H15.12

消防本部・消防署車両の現勢

平成27年4月1日現在

									4月1日現仕
所属 種	別	A 称			購入	経過 年数		ポンプ メーカー	
7217124	_	本部司令車	<u> </u>	一宮800さ1379	トコタ	平及 H26		形义力リ	メールー
		本署司令車	Ĺ	一宮800さ302	トヨタ	H9	17		
		 本署指揮車	<u> </u>	一宮800さ291	E-SV40 ニッサン	H17	9		
		 本署1号車	水 槽 付 消 防 ポンプ 自 動 車		CBA-MNE51 日野 SKG-XZU640M	H23	3	A2	モリタ
		 本署2号車	水 排 什 洮 It	一位000/425	口田式	H17	9	A2	長野ポンプ
			水 埔 仕 池 咕	一位8007433	日略	H11	15	A2	日本ドライ ケミカル
		本署梯子車	10mltl ご付	一位020~110	日眠	H11	15		,
消		本 高所作業車	10 m	一宮800さ84	いすゞ KC-NKR66E2N	H10	16		
防本部		本 署 救急1号車		一宮800さ586	ニッサン CBF-FPWGE50改	H20	6		
部		本 署 救急2号車	局規格拟思日期単	一宮800さ721	ニッサン CBF-FPWGE50改	H21	5		
宮		本 署 広報1号車	Ī	一宮800さ164	トヨタ UA-NCP59G	H14	12		
宮消防署本署		本 署 広報2号車	Ī	一宮800さ264	ニッサン TA-NT30	H13	13		
者本		本 署 広報3号車	1	一宮800さ170	GF-A1211G	H12	14		
者		本 署 広報4号車	Ī	一宮800さ154	E-A1191G	Н8	18		
		本 署 広報5号車	1	一宮800さ256	R-EE103V以	H7	19		
		本署公報6号車	Ī	一宮100さ286	GE-RZH183K	H14	12		
		本 署 広報7号車	Ī	一宮500さ6305	GF-KFI	H12	14		
		本 署 広報8号車	<u>.</u>	一宮800さ186	CBA-N130	H18	8		
		本 署 広報9号車		一宮500そ6867	DBA-GB3	H22	4		
		搬送2号車	[幌	一宮800さ330	PB-LK281AK	H17	9		
			アプローゲート・幌 水 博 仕 ※ 味	一宮800さ335	いすら PB-NKS81AR	H17	9		
西田田	成	西成1号車	小 / / 日 期 早	一 呂 6000/よ52	日野 SDG-GD7JGAA改	H23	3	A2	モリタ
		千秋1号車	ホンノ目 野 里	一呂800/327	日野 BDG-GD7JGWA改 日野	H19	7	A2	長野ポンプ 日本ドライ
張一千	秋	千秋 2 号 車 千 利	消防ポンプ自動車		KK-XZU331M	H12		A2	日本ドフィーケミカル
所		救急1号車	□ 局 規 恰 拟 □ 内 本 本 # + + + + + + + + + + + + + + + + +		ニッサン CBF-FPWGE50改 三菱	H23	3		口木ドラノ
浅	井	浅井1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は22	二変 KK-FL63HGX改	H15	11	A2	日本ドライ ケミカル

abla	種別	ky fly	松 田	₩43.亚日	車名	購入	経過	λ,	ポンプ
所属		名称	摘要	登録番号		年度	年数	級別	メーカー
		分署司令車		一宮800さ708	ニッサン DBA-NT31	H21	5		
	八 幡	分署1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は66	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	2	A2	モリタ
	幡消防分署	分 署 救助工作車	3tクレーン装備	一宮800は9	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	8		
	分 署	分 救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ2721	トヨタ CBF-TRH226S	H26	0		
		分 広報1号車		一宮480あ4001	三菱 V-U41V	H10	16		
出		化学1号車	水 15000 薬液 5000	一宮800は20	三菱 KK-FK61HGX	H15	11	A2	日本機械
	大 和		高規格救急自動車	一宮800さ198	IC-FPWGE50欧	H16	10		
張		一 宮 救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ156	トヨタ TC-VCH38S	H14	12		
所	丹 陽	丹陽1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は45	日野 BDG-GD7JGWA改 トヨタ	H22	4	A2	モリタ
		救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ419	トヨタ CBF-TRH226S トヨタ	H19	7		
		尾西司令車		一宮800さ529	GF-RZJ95W ニッサン	H14			
		尾西指揮車	水槽付消防	一宮800さ401	UA-NE51 日野	H15			
		尾西1号車	ポンプ自動車	一宮800さ724	BDG-XZU334M 三菱	H21	5	A2	モリタ 日本ドライ
		尾西2号車	ポンプ自動車	一宮800は18	KK-FK61HEX	H15	11	A2	ケミカル
		化学2号車	水 1000ℓ 薬液 600ℓ	一宮800は15	三菱 KK-FK61HGX	H11	15	A1	畠山ポンプ
	尾 西	尾西梯子車	35mはしご付消防自動車	一宮800は26	日野 KC-PR4FPDF	H11	15		
	消 防 署	尾 西高所作業車尾 西	12 m	一宮800さ92	いすゞ KC-NKR66E2N ニッサン	H10	16		
	署	救急1号車 一 宮	高規格救急自動車		ーツリン TC-FPWGE50改 ニッサン	H18	8		
		救急3号車尾 西	高規格救急自動車		TC-FPWGE50改 三菱	H15			
		広報1号車		一宮480あ2345	一変 V-U41V トヨタ	H9	17		
		広報2号車尾 西		一宮800さ507	GC-KR42V ニッサン	H12			
		広報3号車	9+ 万1 / 八 八 十 / 二	一宮800さ457	GF-QU14 日野	H11	15		
		機材輸达里 萩原1号車	3tクレーン装備 水 槽 付 消 防	一宮800さ393 一宮800は32	ADG-FD7JLWA 日野	H17 H21	9 5	A2	モリタ
出		萩原1号単	ポンプ自動車水 槽付消防	一宮800に322	BDG-GD7JGWA改 三菱	н21 H14		A2 A2	ーーーー 日本機械
Щ	72\ 72\	萩原	ポンプ自動車 高規格救急自動車	一宮830さ2722	トヨタ	H26		114	ロ / 十 *1/及1/以
張	今		水槽付消防	一宮800は77	CBF-TRH226S 日野	H25		A2	モリタ
所	· 伊 勢	今伊勢・奥		一宮800は30	SDG-GD7JGAA改 日野	H20		A2	長野ポンプ
	奥	2 号 車 今伊勢・奥 救急1号車	ポンプ自動車高規格救急自動車		BDG-GD7JGWA改 ニッサン CBF-FPWGE50改	H24			
		伙 芯 万 単			CBF-FPWGE50欧				

種別	名		容録悉号	車 名	購入	経過	\text{\text{Z}}	ポンプ
所属			立が田り	型式	年度	年数	級別	メーカー
	木 曽 川司 令 車		一宮800さ227	トヨタ E-GX81改	Н7	19		
		水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は65	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	2	A2	モリタ
	一宮2号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800さ183	三菱 KK-FK61HG改	H14	12	A2	日本機械
木曽	木 曽 川 救助工作車	3tクレーン装備	一宮800は21	日野 ADG-GX7JGWA改	H17	9		
川 消	木 曽 川救急1号車	高規格救急自動車	一宮800さ681	トヨタ CBF-TRH226S	H21	5		
防 署	一 宮 救急2号車	高規格救急自動車	一宮830せ138	ニッサン GE-FLWGE50改	H13	13		
	木 曽 川 広報1号車		一宮880あ16	ダイハツ V-S100V	Н9	17		
	木 曽 川 広報2号車		一宮800さ424	トヨタ CBA-NCP59G	H17	9		
	搬送1号車		一宮800さ345	マツダ PB-LKS81AR	H17	9		
出業栗	葉栗1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は10	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	8	A2	長野ポンプ
張	葉 栗 救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ263	トヨタ CBF-TRH226S	H25	1		
所北方	北方1号車	水 槽 付 消 防ポンプ自動車	一宮800は11	いすゞ PB-FSS35G3J改	H16	10	A2	日本機械

総数 67台 (消防本部・一宮消防署 36台、尾西消防署 19台、木曽川消防署 12台)

タンク車 18台(非常用2台含む) 救助工作車 2台

ポンプ車 1台 化学車 2台(非常用1台含む)

救急車 14台(非常用3台含む) その他 28台

は に 車 2 台

消防団車両の現勢

平成27年4月1日現在

	全 種別				車名	購入		1 中年	
所属		名 称	摘 要	登録番号	型式	無の年度			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	葉栗北分団	葉栗北分団車	積 載 車	一宮830す119	ニッサン TCーSH4F23	H18	8	В2	トーハツ
北	葉栗南分団	葉栗南分団車	ポンプ車	一宮800さ100	いすゞ PB-NKR81N	H16	10	A2	モリタ
	北方分団	北方分団車	ポンプ車	一宮830の119	いすゞ BKG-NMR85N	H22	4	A2	日本機械
面隊	木曽川北分団	木曽川北分団車	積 載 車	一宮830ひ119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	3	В2	トーハツ
	木曽川西分団	木曽川西分団車	積 載 車	一宮830は119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	3	В2	トーハツ
	木曽川東分団	木曽川東分団車	ポンプ車	一宮830ね119	日野 BDG-XZU304E	H21	5	A2	モリタ
	西成北分団	西成北分団車	積 載 車	一宮830せ119	ニッサン TCーSH4F23	H18	8	В2	トーハツ
東	西成南分団	西成南分団車	ポンプ車	一宮800さ376	日野 KK-XZU301E	H15	11	A2	モリタ
	丹陽分団	丹陽分団車	積 載 車	一宮800さ112	ニッサン TC-SH4F23	H16	10	В2	トーハツ
	浅井分団	浅井分団車	積 載 車	一 宮830さ119	ニッサン TC-SH4F23	H18	8	В2	トーハツ
	千秋北分団	千秋北分団車	積 載 車	一宮830ち119	ニッサン TC-SH4F23	H19	7	В2	トーハツ
	千秋南分団	千秋南分団車	ポンプ車	一宮800さ416	日野 KK-XZU301E	H13	13	A2	GMいちはら
	大和西分団	大和西分団車	積 載 車	一宮800さ406	ニッサン TC-SH4F23	H17	9	В2	トーハツ
南	大和東分団	大和東分団車	ポンプ車	一宮830ぬ119	日野 BDG-XZU304E	H21	5	A2	小川ポンプ
	萩原分団	萩原分団車	ポンプ車	一宮800さ383	日野 KK-XZU301E	H15	11	A2	モリタ
面隊	起分団	起分团車	積 載 車	一宮830て119	ニッサン CBF-SQ2F24	H20	6	В2	トーハツ
	大徳分団	大徳分団車	ポンプ車	一宮830に119	日野 BDG-XZU304E	H21	5	A2	小川ポンプ
	朝日分団	朝日分団車	積 載 車	一宮830ふ119	ニッサン CBF-SQ2F24	H24	2	В2	トーハツ
	真清北分団	真清北分団車	積 載 車	一宮830た119	ニッサン TCーSH4F23	H19	7	В2	トーハツ
	真清南分団	真清南分団車	ポンプ車	一宮800さ200	日野 KK-XZU301E	H14	12	A2	モリタ
西部	今伊勢分団	今伊勢分団車	積 載 車	一宮800さ407	ニッサン TC-SH4F23	H17	9	В2	トーハツ
方面	奥 分 団	奥 分 団 車	ポンプ車	一宮800さ380	日野 KK-XZU301E	H15	11	A2	モリタ
隊	三条分団	三条分団車	ポンプ車	一宮830と119	日野 BDG-XZU304E	H20	6	A2	GMいちはら
	小信中島分団	小信中島分団車	積 載 車	一宮830な119	ニッサン CBF-SQ2F24	H21	5	В2	トーハツ
	開明分団	開明分団車	ポンプ車	一宮830ほ119	日野 TKG-XZU640M	H26	0	A2	長野ポンプ

総数 25台 (ポンプ車 12台、積載車 13台)

消防音楽隊のあゆみ

明治28年、一宮銀行頭取の佐分慎一郎氏が、外国から楽器を取り寄せ、銀行員を音楽隊員に任命し「一宮音楽会」が誕生しました。その頃は、日清戦争のさなかで隊員の服装も軍国調でした。演奏活動は、一宮駅等において出兵兵士の歓送迎や宮田用水通水式記念演奏などを行いました。

明治37年には、「一宮軍楽会」に改称しました。当時、音楽隊は大変珍しい存在でしたので、名古 屋第三師団の招魂祭をはじめ、豊橋・四日市・静岡・箱根など各地から演奏依頼が殺到しました。しか し、押し寄せる戦争の波には勝てず演奏活動を続けることができなくなり楽器を第四尋常小学校〈現 在の大志小学校〉へ保管していました。

その後、一宮第一青年団が音楽隊を再結成し、昭和9年には消防組がこれを受け継ぎ、全国初の消防音楽隊が誕生しました。大森喜代三郎氏を中心として音楽隊員を増員し、先代の軍楽会同様、各方面から好評を博し、演奏活動も軌道に乗りました。しかし、太平洋戦争の激化により、またも演奏活動を中止せざるをえなくなりました。

空襲により、市内の大部分が消失しましたが、楽器は市役所の望楼に保管したので、すべて無事でした。楽器が生き残ったおかげで、隊員こそ少人数になりましたが、再び練習が開始されました。焦土と化した中から、疲弊した市民を励ますように希望のメロディーが流れはじめました。苦難の時代も音楽活動を続け、消防音楽隊として定着してきました。

昭和36年に消防音楽隊は、一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団となりました。本格的な吹奏楽団としてオレンジ色の帽子、上着、クリーム色のズボンを身にまとい、華やかな彩りと高度な技量を市民に披露しました。そして、昭和37年には演奏効果をより充実するため、楽器の編成に一部弦楽器を加え、名称を「一宮市音楽隊」に改称しました。昭和51年に一宮市音楽隊設置規則を制定、昭和62年には、「一宮市消防音楽隊」に改称しました。

現在は隊員38名が、市の行事はもちろん高齢者福祉施設や小中学校演奏会、各種イベント、パレード等、年間約40回の演奏活動を幅広く実施しています。

昭和55年から毎年市民会館で開催している定期演奏会では、ゲストに著名な歌手や指揮者を招いて一年間の練習の成果を発表しており、芸術の秋の一大イベントになっています。平成3年中には、一宮市制70周年記念事業に多数参加しイベントに花をそえました。

そして、平成5年は国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の式典演奏を、平成6年には、第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の式典演奏等を担当するなど、大会の運営に貢献するとともに、音楽隊誕生100周年を迎えました。この記念演奏会を7月と11月に2回開催し、多くの市民から好評を博しました。平成13年から、学校演奏会30周年を記念して第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催し、情操教育の一環として演奏技術の向上を目的に毎年演奏活動を実施しています。

<年表>

明治28年 一宮銀行佐分頭取を理事長として一宮音楽会が発足、日清戦争出兵兵士の歓送演奏

明治32年 宮田用水通水記念演奏

明治37年 一宮軍楽会と改称

昭和 2年 一宮第一青年団音楽隊と改称し、大森喜代三郎氏が隊長兼指揮者として就任

昭和 9年 青年団音楽隊から一宮消防組音楽隊に改め隊員も消防組員を主体として全国初の消防音楽隊が発足

昭和19年 太平洋戦争の激化により活動を停止

昭和21年 隊員25名で消防音楽隊を再編成

昭和36年 消防音楽隊は一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団としてスタート

昭和37年 一宮市音楽隊と改称し市営となる

昭和38年 創立3周年記念音楽会を開催

昭和43年 NHK土曜コンサートで全国放送

昭和44年 名古屋まつり市中パレードに出演

昭和46年 一宮市繊維団地完成祝典演奏

昭和47年 プロ野球オープン戦入場式及び演奏会、ドリル演奏を実施

昭和51年 一宮市音楽隊設置規則制定

一宮ライオンズクラブ結成20周年記念式典演奏

愛知県消防大会で記念演奏

昭和53年 一宮市民憲章制定発表会で記念演奏

一宮市スポーツ文化センター完成式で記念演奏

ロータリークラブ国際年次大会で記念演奏

昭和54年 日中友好国際ソフトボール大会の入場式及び演奏会

昭和55年 一宮市音楽隊20周年記念演奏会を開催

昭和62年 一宮市音楽隊を一宮市消防音楽隊と改称し、隊長の大森喜代三郎氏は名誉隊長に、隊 長には消防長がそれぞれ就任

平成 元年 世界デザイン博覧会のJTミュージックラン、一宮フェスティバルに出演

平成 2年 「イーストマン・ウインド・アンサンブル」指揮者ドナルド・ハンスバーガー氏に指導を受ける

平成 3年 一宮市制70周年記念事業に多数参加

平成 4年 指揮者としてチェコスロバキア出身アントニン・キューネル氏を迎える

平成 5年 国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の開会式、表彰式、閉会式の演奏を担当

平成 6年 第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の開始式、表彰式、閉会式の演奏を担当 7月と11月に音楽隊誕生100周年記念演奏会を開催

平成 7年 第17回定期演奏会で交響詩「阪神大震災」(アントニン・キューネル作曲)を初演

平成 9年 第19回定期演奏会で新調したユニフォームを初披露

平成10年 第20回定期演奏会に名古屋市消防音楽隊(カラーガード隊リリーエンゼルス)が友情出演

平成13年 学校演奏会30周年を記念し、第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催

平成13年 一宮市制80周年記念として、第23回定期演奏会に神崎愛氏をゲストとして迎える

平成16年 第26回定期演奏会で「しょうぼうじどうしゃじぷた」を題材に子供たちの演劇を演奏

平成20年 第30回定期演奏会で「カルメン」をテーマにゲストによる歌と踊り、そして音楽隊とのコラボレーションを披露

平成21年 第31回定期演奏会で市民参加による吹奏楽と合唱のコラボレーション、合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」を披露

- 平成22年 第32回定期演奏会で「スポーツと音楽」をテーマにスポーツ&音楽ライターの玉木正之氏 と元フィギュアスケート選手の中野友加里氏をゲストに迎える
- 平成23年 第33回定期演奏会で「世界を旅する」をテーマに野村哲也氏(写真家)、八木澤教司氏 (作曲家)、大石邦彦氏(CBCアナウンサー)をゲストに迎える
- 平成24年 第34回定期演奏会で「ミュージカル」をテーマに新妻聖子氏(ミュージカル女優)をゲスト に迎える
- 平成25年 第35回定期演奏会で「世界の中の日本」をテーマに山口晃司氏(津軽三味線奏者)、 白井奈津氏(ラジオDJ)をゲストに迎える
- 平成26年 第36回定期演奏会で桂米團治氏(落語家)をゲストに迎え、桂氏の語りと音楽隊の演奏のコラボレーションによるバレエ音楽「白鳥の湖」を披露

消防音楽隊の編成

平成27年4月1日現在

隊長	消	i防長 後藤	保夫	
副隊長		佐野	正樹	
常任指揮者		鈴木	竜哉	
フルート・ピッコロ	3	バリトンサ	キソフォン	1
オ ー ボ エ	1	トラン	ペット	4
E b クラリネット	1	ホ ル	ン	4
ク ラ リ ネ ッ ト	6	ユーフォ	ニューム	1
アルトクラリネット	1	トロン	ボーン	4
バスクラリネット	1	チュ	ー バ	2
アルトサキソフォン	2	ストリン:	グベース	1
テナーサキソフォン	1	ティンパニー・	パーカッション	5
		Ē	t	38

消防音楽隊の活動状況

平成26年度中

			内		容	
区分	合 計		演	奏		/击 33
		部内	市関係	その他	計	練 習
4 月	8		1	1	2	6
5 月	10		6	2	8	2
6 月	10	1	6		7	3
7 月	4		2		2	2
8 月	1					1
9 月	14	1	1	7	9	5
10 月	8	1			1	7
11 月	9	2			2	7
12 月	4			1	1	3
1 月	5	1	1		2	3
2 月	4					4
3 月	9					9
合 計	86	6	17	11	34	52

浴券

当初予算の推移

(単位 千円)

科目	\	\	年度	/ r#	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	般	会		計	100,646,000	104,712,000	105,215,000	105,443,000	110,450,000
消	ß	方		費	3,566,530	3,608,915	3,496,663	3,453,097	4,650,533
消	常(莆 消	防	費	3,196,141	3,104,179	3,190,530	3,173,504	4,215,535
防 費	非常	清備消	当防	費	106,835	106,452	104,690	108,638	115,104
貸 内	消	方 施	設	費	253,644	388,496	191,279	161,313	310,269
訳	水	防		費	9,910	9,788	10,164	9,642	9,625

決算額と構成の推移

(単位 千円)

							(単位 1 口)
科目		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	般 会	計	102,197,258	106,821,906	101,580,452	106,932,872	112,394,166
消	防	費	3,502,618	3,417,367	3,560,636	3,598,834	3,435,695
消	常備消	防費	3,006,128	2,969,320	3,188,715	3,088,126	3,146,472
防	非常備剂	消防費	111,829	106,155	123,116	111,951	101,334
	消防施	設 費	374,452	331,833	238,895	388,969	177,823
費	水防	費	10,209	10,059	9,910	9,788	10,066
	消防費の	構成比	3.4%	3.2%	3.5%	3.4%	3.1%
内	人口一人		9,105	8,859	9,221	9,314	8,890
訳	1世帯当た 消防費(円		24,450	23,594	24,358	24,385	23,096

消防職員の配置

平成27年4月1日現在(単位 人)

·												十八人	27年	エノリエ	H 576	11. (÷	F 14	人)
									合	消	消	消	消	消	消	消	消	事
										防		防	防	防 司	防	防		務
			区			分				正	防	司	司	司	士	副	防	吏
									計	監	監	令長	令	令補	長	士長	士	員
			合			計			383	<u>m.</u>	2	14	24	76		58	42	1
	沙环				 防	ĀI		E		-		14	24	70	100	90	42	
	消消		 防	本	部		次	長	1	1	-1							
		課	197	<u> </u>	の日		八	長	1		1	1						
	小心	_						<u>長</u> 監	1			1	1					
		副総		 務	主	 課			1 2				1		0			
沙环	丞々			 一務		担		<u>付</u> 当						1	2			1
消	伤	庶	 事		. =	_ <u>担</u> 髪	担	当	4					1	2			1
		消	 				<u>担</u> 担	当	3 4					1	2			
R士:	÷π) 装			<u>世</u> 担	= 当						1	3		1	
別		施課	-	表	1)	带	1브	<u>=</u> 長	3 1			1		1	1		1	
		副			主			<u></u> 監	2			1	2					
+				<u></u>	<u>土</u> (普		 勤	<u></u> 競務)	1					1				
本		通通		<u>令</u> 指		 第								1	C	1		
	'	通	信		<u></u> 令		$\frac{1}{2}$	係	8					1	6	1		
	課		信	指	<u>lı</u>	第	2	係	8			1		1	4	3		
部	1.	課						長	1			1	1					
		副予		 防	主	担		<u>監</u> 当	3				1	1	1	-1		
	防	」 指		 導		担 		 当	<u>3</u>					1	$\frac{1}{2}$	1		
		危	 険		物		担	 当	3					1	1		1	
	≑⊞	査	J. 	· 察	170	 担	브	<u>=</u> 当	3					1	2		1	
	課署	且.		宗		7년		<u>=</u> 長	1		1			1	۷			
	1 主							監	1		1	1						
	<u>土</u> 管		理	グ	ル			<u></u> プ	6			1		2	4			
	Ħ	警	<u></u>	1	$\frac{7}{2}$		課		2			0			4			
		主	la)	т		,	吓	<u></u> 監	2			2						
		<u>土</u> 指		<u> </u>	(第	2	<u></u>) 係	8					2	6			
宮		警		7 1 1 係	 第 1		<u>2</u> 第 2)係	10					2	7	1		
	本	警	<u></u> 防第 防第	2 係	第 1 第 1		为 乙 第 2)係	10					2	5	2	1	
消		救		$\frac{2}{\pi}$ $\frac{\pi}{1}$		<u></u> 第	$\frac{7}{2}$		10					2	5 5	2	$\frac{1}{1}$	
		Н	Les N		 消	<u></u> 防	<u>∠</u> 司	分 令	2				2		Э		1	
防		手	-	-		-			8				۷	2	5		1	
		 秋	千秋消						10					2	- 5 - 4	3	$\frac{1}{1}$	
署	署					忍男 防	<u>I(弗</u> 司	(2)係 令	10				1		4	3	1	
有		西成			消息破数				11				1	2	5	1	3	
		$\overline{}$	西成消[担 当										1		Э	1	<u>ئ</u>	
		浅井			消息破数	防医等	1 (第	令 (2) 核	11				1	n	1	n	1	
		ᄺ	浅井消	沙田男	が一	ツ 弗	1(那	と) 徐	11					2	4	2	3	

平成27年4月1日現在(単位 人)

						平成.	217	1/11	<u>н Уц</u>	11- (-	<u> </u>	人)
	_	区 分	合	消防	消防	消防司	消防	消防司	消防	消防副	消防	事務
		D A		正	197	令	司	令	士	士	190	吏
			計	監	監	長	令	補	長	長	士	員
		分 署 長	1			1						
-		担 当 消 防 司 令	2				2					
		警 防 第 1 (第 2) 係	10					2	7		1	
宮	分		12					2	7	3		
		救 急 第 1 (第 2) 係	10					2	3	3	2	
消		大担 当 消 防 司 令	2				2					
		大和消防出張所警防第1(第2)係	8	_				2	5		1	
防		和 大和消防出張所救急第1(第2)係	10					2	3	5		
123	署	丹担当消防司令	2				2					
罗.		▎ ┩陽消防出張所警防第1(第2)係	8					2	3	1	2	
署		陽丹陽消防出張所救急第1(第2)係		_				2	5	3		
	署	長	1			1						
	管	理 グ ル ー プ	3					2	1			
	警	防 1 (2) 課 長	2			2						
	主	監	1			1						
尾	担		1				1					
	指	揮 第 1 (第 2) 係	8					2	3	1	2	
西	警	防第1係第1(第2)係	10					2	3		5	
消		防第2係第1(第2)係(特別消防隊)	12					2	7	1	2	
17-1-	救	急 第 1 (第 2) 係	10					2	4	4		
防	今	担 当 消 防 司 令	2				2					
署	伊勢	今伊勢・奥消防出張所警防第1(第2)係		_				2	5	1		
		今伊勢・奥消防出張所救急第1(第2)係						2	3	5	-	
	_	担 当 消 防 司 令	2	_			2					
	17/	萩原消防出張所警防第1(第2)係		_				2	3	1	2	
	原	萩原消防出張所救急第1(第2)係		_				2	4	4		
П	署	 	1			1						
	管	理 グ ル ー プ	3					3				
	担	当 消 防 司 令	2				2					
曽				_				2	3	2	7	
	救							2	7	2	1	
7''	救	急 第 1 (第 2) 係	10					2	5	2	1	
2017	_	担 当 消 防 司 令	2				2					
防		葉栗消防出張所警防第1(第2)係	8	_				2	3	2	1	
	栗	葉栗消防出張所救急第1(第2)係		_				2		1	2	
		担 当 消 防 司 令	1				1					
	r	北方消防出張所警防第1(第2)係						2	5	1	1	
ш		1				ı						

消防職員の年齢

平成27年4月1日現在(単位 人)

		2214	22/4	22/4	22/4		7 十年万			
	合	消	消	消	消	消	消	消	消	事
		防		防	防	防	防	防	•	務
区 分		正	防	司	司	司	士	副	防	吏
				令		令		士		
	計	監	監	長	令	補	長	長	士	員
合 計	383	1	2	14	24	76	165	58	42	1
18歳・19歳	0									
20歳から24歳	18								18	
25歳から29歳	53							32	21	
30歳から34歳	77						48	26	3	
35歳から39歳	91					4	87			
40歳から44歳	59					29	30			
45歳から49歳	22				1	21				
50歳から54歳	36			7	14	15				
55歳から59歳	27	1	2	7	9	7				1
平均年齢	38.0	58.0	56.0	54.7	54.0	46.5	36.3	29.5	24.6	59.0

消防職員の勤続年数

平成27年4月1日現在(単位 人)

						1 13/2/2	7 十年月		T (T 1-1	. 八.
区 分	合	消 防	消防	消防司	消 防	消防司	消防	消 防 副	消防	事務
		正	197	令	司	令	士	士	197	吏
	計	監	監	長	令	補	長	長	士	員
合 計	383	1	2	14	24	76	165	58	42	1
1年未満から5年	59							20	38	1
6年から10年	57						19	34	4	
11年から15年	76						72	4		
16年から20年	59					14	45			
21年から25年	47					18	29			
26年から30年	26			1	3	22				
31年から35年	35		2	7	11	15				
36年以上	24	1		6	10	7				
平均年数	17.0	40.0	33.5	35.0	34.6	26.7	15.2	6.4	2.8	1.0

消防職員資格等保有状況

平成27年4月1日現在(単位 人)

						十八八/	71 T-1	/ J I H	771171	(+)14	八)
	- 1	合	消	消	消	消	消	消	消	消	事
	- 1		防		防	防	防	防	防		務
区 分	- 1		正	防	司	司	司	士	副	防	吏
	- 1			III'.	令	,	令		士	,	
	_	計	監	監	長	令	補	長	長	士	員
数 急 救 命	士	82			2	5	24	42	3	6	
薬剤投与救急救命	士	59				2	16	36	3	2	
気管挿管救急救命	士币	14					4	10			
救急 II 課程·救急標準課程修了	了者	274	1	2	12	19	52	121	54	13	
大型 一種 自動 車免	許	331	1		10	19	69	160	53	19	
中型一種自動車免	許	18						5	4	9	
ディーゼル 2	級	2						1		1	
自動車 3	級	2						2			
整備士 ,, ,, 2	級	4					1	2		1	
免	級	4					1	3			
シャシ3	級	6	1				2	3			
甲	種	6		1	1		1	2	1		
危険物 第 4	類	63			3	2	14	31	8	5	
取 扱 者 乙 種 第 6	類	16					4	8	3	1	
丙	種	19				1	7	10	1		
第 2	級	217		1	4	6	11	101	56	38	
陸上特殊無線技士第 3	級	103			4	5	36	58			
H	種	4			2		1	1			
消防設備士免状工	種	9			1	1	1	4	1	1	
1・2級小型船舶操縦士免	許	97		1	1	5	25	51	12	2	
ガス溶接技能講	習	35			3	10	9	11	2		
有機溶剤作業主任者技能請		11					4	7	_		
高圧ガス製造保安責任者免		10			4	1	5				
第一種衛生管理者免		17		2	2	3	7	3			
ボイラー取扱技能講		8			$\frac{2}{4}$	1	2	1			
足場の組立て等作業主任者技能		32			2	4	16	10			
小型移動式クレーン運転技能	_	151	1		12	24	47	59	8		
玉掛け技能講	習	253	1		9	7	21	120	58	37	
酸素欠乏·硫化水素危険作業主任者技能		43	1		7	8	20	7	50		
潜水土免	許	90	1		•	6	17	52	9	6	
予防技術資格者(防火査察専門	_	18		2	2	3	6	5	<i>J</i>	0	
予防技術資格者(消防設備等専門		12		۷	۷	2	6	4			
予防技術資格者(危険物専門		16		2	2	3	6				
接遇研修指導	者	5		۵	1	1	1	2			
	者		1			1					
J K E T 研 修 指 導	自	5	1		2		2				

消防職員教育研修状況

平成26年度中

科目	回数	日数	受講者	科目	回数	_	受講者
○派遣教育				○その他の教養			
県消防学校				研究会•講習会			
初任科(第98期)	1	166	4	名古屋市消防局派遣研修(火災原因調査)	1	2	2
初任科(第99期)	1	176	3	東京消防庁受託研修 高度救助技術研修	1	2	1
警防科(第63期)	1	16	2	安全運転管理者講習会	1	1	4
火災調査科(第49期)	1	12	3	副安全運転管理者講習会	1	1	1
救急科(第107期)	1	52	5	消防救急緊急自動車運転技能者研修	1	4	1
救急科(第109期)	1	53	5	緊急自動車運転技能講習	1	4	36
救助科(第40期)	1	29	3	消防実務講習会(コ・メディカルセミナー)	1	1	3
初級幹部科(第63期)	1	12	3	整備主任者技術研修会	1	1	1
はしご自動車等運用科(第20期)	1	5	2	整備主任者定期研修会	1	1	1
地震防災科(第9期)	1	2	2	調査技術会議	1	1	4
指揮隊科(第3期)	1	5	2	全国消防救助隊員シンポジウム	1	1	2
外傷・災害対応講習(Aコース)	1	1	6	全国救急隊員シンポジウム	1	2	1
消防大学校				救急救命士(気管挿管運用試験)	1	1	1
救助科(第69期)	1	52	1	指導救命士養成研修	1	42	1
火災調査科(第28期)	1	51	1	日本救急医学会中部地方会	1	1	2
救急救命士養成課程(名古屋)	1	204	1	日本集団災害救急医学セミナー	1	1	1
救急救命士養成課程(大阪)	1	191	1	日本臨床救急医学会	1	2	1
○市職員研修				心電図セミナー(前期・後期)	1	1	4
第1部前期(新規採用)研修	1	4	7	愛知県医師会主催 救急研修会	1	1	3
第3部1期研修	2	2	20	愛知県下高速道路連絡協議会 講演会	1	1	4
第4部新任主查研修	1	2	8	車両構造研修会	2	2	4
新任課長級研修	1	1	2	火災調査研究発表会	1	1	4
第4部新任副主監級研修	1	3	4	消防職員安全衛生研修会	1	2	1
第4部管理職集合研修	1	1	対象者	危険物特別講演会	1	1	2
部長研修	1	1	1	○資格取得•技能講習			
第5部ライフプラン研修	1	0.5	3	酸素欠乏·硫化水素危険作業主任者技能講習	1	3	2
第5部クレーム対応研修	1	1	3	足場の組立て等作業主任者技能講習	1	2	3
平成26年度主查•主任集合研修	1	0.5	対象者	有機溶剤作業主任者技能講習	1	2	1
公務災害事務研修会	1	1	1	玉掛け技能講習	1	3	2
安否参集確認システム管理運用責任者研修	1	1	1	小型移動式クレーン運転技能講習	1	3	6
人事評価研修	1	1	9	2級小型船舶操縦士	1	1	3
○本部教養・所属教養				気管挿管再教育病院実習	2	4	2
職制教養	3	5	744	薬剤投与講習(指導者講習)	2	4	2
集合研修	3	3	505	プロトコール運用教育	1	1	4
初任者実務教養	2	183	7	薬剤運用試験	1	1	3
第5部接遇研修	1	1	7	予防技術検定	1	0.5	2
各種訓練研修	10	28	825	JKET指導者養成研修	1	2	1

災害防止

昭和60年10月一宮市消防職員安全管理規程を制定し、職員の安全管理と環境整備の促進を図るとともに、事故防止の徹底を図っています。さらに平成2年9月には労働安全衛生法の規定に基づき、一宮市職員安全衛生管理規程が定められ、消防本部の安全衛生管理体制も強化され、災害の防止に取り組んでいます。

〈安全衛生管理体制〉

(単位 人)

							(+ M) ()
区	分	総 安全衛生 管 理 者	副安全衛 生管理者	衛 生 管理者	委員	産業医	安全衛生 推 進 者
人	員	1	1	2	5	2	13

安全管理

最近の公務災害は、3年間で15件発生しています。

〈過去3年間の災害種別公務災害発生状況〉

(単位 件)

区分	分	合 計	消防訓練中	消火活動中	救急活動中	救助活動中	その他
合言	it	15	7	5			3
平成24年	三中	8	4	4			
平成25年	三中	5	3				2
平成26年	三中	2		1			1

消防協力者表彰

火災その他の災害現場において早期発見、消火・救助等の協力及び消防施設の強化 充実、保全等消防に対して著しく功労があった者に市長感謝状として贈るものです。

平成26年中

					1 14/4/20 1 1
表彰種別	合 計	火災	救 助	救 急	その他
表彰件数	6	4		2	
表彰人員	12	9		3	

施設•装備充実事業

- ≪分署救急1号車·萩原救急1号車 更新≫ 高規格救急自動車
- ○高度救命処置用資機材及び応急処置資機材 を積載。



≪本部司令車 更新≫

○最大乗車人員8名の車両に更新。



≪開明分団車 更新≫ ポンプ車

○可動式の根元媒介金具を装着。また、ポンプ室 上部及び後部にアルミシャッター付き収納庫を 設けた。



通信

気象

指令施設系統図

119番通報

通信指令センター

指令台単座3台

指揮台1台

(相乗り方式)

無線統制台1台

(相乗り方式)

Eメール指令装置



火災発生時 消防団員に Eメールで 指令します。

メンテナンス装置

地図情報及び自動出動指定装 置のメンテナンスを行います。

大型プロジェクタ



長時間録音装置



音声合成装置

LAN及び無線

LAN接続 消防OA

各署所出動指令



位置情報受信装置



一般加入電話、IP電 話及び携帯電話から の119番通報位置を 照会します。

地図検索装置



住所から地図を 表示させます。

自動出動指定装置



車両の位置を把握 し、災害点へ最も早く 到着できると思われ る車両を選別します。

車両動態位置管理装置

GPS 🗀



FOMA回線

出動車両



無線

車両積載のカーロケー ションシステムに指令情報、 地図等を表示させます。

無線施設

150MHz帯

消防波

基地局 2局 出力10W·5W

固定局 1局 出力10W

移動局 54局 出力10W·5W (車両積載無線)

携帯局 46局 出力10W·5W

救急波(複信式)

基地局 1局 出力10W

移動局 13局 出力10W·5W (車両積載無線)

400MHz帯

署活動波

携帯局 21局 出力1W

特定小電力トランシーバー

携帯局 170局

無線統制台



指令回線等一覧表

1. 指令システム

項目	名 称	回線数	内 訳
1	119番回線(固定電話用)	6	・ISDN回線・・・12ch
2	119番回線(移動体用)	2	·ISDN回線···4ch
3	指令回線(音声、データ)	13	•署所端末装置指令回線13
			← 一宮消防署本署 一宮消防署分署
			千秋消防出張所 大和消防出張所
			西成消防出張所 丹陽消防出張所
			浅井消防出張所 木曽川消防署
			尾西消防署 葉栗消防出張所
			萩原消防出張所 北方消防出張所
			今伊勢·奥消防出張所
4	加入回線	4	·ISDN回線···8ch(順次指令用)
5	内線回線	4	•PBX内線収容
6	専用回線	6	中部電力・中日本高速道路・東邦ガス
			名古屋高速道路•予備:2
7	転送回線	2	119FAX転送回線:1(構内)、予備:1
8	無線回線	7	·市波×2
			•県内共通波
			•全国共通波×3
			• 救急波
9	庁内放送回線	1	• 庁内放送用
10	音声合成回線	22	•指令用:7(構內回線)
			(内訳)指令台:3、指揮台:2、無線統制台:2
			・無線用:1(構內回線)
			•市民案内用:6
			・順次指令用:8

2. 電話回線

項目	名 称	回線数	内 訳
1	加入回線(ISDN)	4	・INSネット1500:1(23ch)
			・INSネット64:3(6ch)
2	加入回線(アナログ)	4	•FAX用:3
			•障害時用:1
3	携帯電話回線	37	救急隊:14、指揮隊:2、警防隊:15、救助隊:2
			通信指令課:4

月別119番受信状況

平成26年中

種	別	月 <mark>人</mark>	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合		計	21,800	1,866	1,791	1,727	1,905	1,743	1,782	1,801	1,972	1,778	1,736	1,684	2,015
火		災	268	30	17	13	10	49	31	29	31	38	5	3	12
救		急	14,307	1,326	1,189	1,169	1,135	1,095	1,086	1,221	1,265	1,171	1,109	1,147	1,394
救		助	96	8	11	8	9	4	4	9	7	11	7	8	10
そ災	の他	の害	60	7	5	8	5	1	4	8	5	3	4	6	4
V	たず	Š	75	3	6	2	24	3	2	6	7	2	5	7	8
間	違	W	938	73	73	96	81	67	93	71	65	90	72	82	75
問	合	せ	326	48	34	25	19	22	27	28	24	32	21	19	27
病問	合	院せ	771	88	73	60	49	62	52	66	70	73	49	67	62
訓		練	427	15	19	58	36	46	35	17	19	42	57	59	24
試		験	1,492	45	176	91	175	95	176	71	165	85	179	82	152
そ	の	他	2,929	214	178	190	351	287	266	267	306	225	220	191	234
転		送	111	9	10	7	11	12	6	8	8	6	8	13	13

携帯電話からの月別119番受信状況

平成26年中

種類	月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合	計	8,096	634	636	624	652	694	670	717	746	697	622	667	737
火	災	145	13	10	10	5	33	15	19	15	17	4		4
救	急	5,111	395	414	394	406	387	410	442	479	432	422	435	495
救	助	63	4	8	6	7	3	1	5	4	7	4	5	9
そ災	の他の 害	44	6	3	4	5	1	3	6	3		3	6	4
۷١	たずら	8	1	1	1	1			1	1			2	
間	違い	382	35	32	42	25	26	29	25	24	41	30	34	39
問	合 せ	152	25	11	12	10	13	12	12	10	17	10	11	9
 病 問	院 合 せ	353	35	33	31	22	33	25	33	32	39	14	31	25
訓	練	46	1	1	5	7	4	7	1	2	7	1	10	
試	験	20		5	2	2	3	4	2	1		1		
そ	の他	1,681	111	109	111	154	180	161	165	168	132	126	122	142
転	送	91	8	9	6	8	11	3	6	7	5	7	11	10

月別気象状況

平成26年中

区分		気温℃		風速r	m/s	相対潛	湿度%	実効憑	湿度%	降水量
	最低	最高	平均	最大	平均	最小	平均	最小	平均	mm
1月	-4.0	11.5	3.7	17.0	1.7	28.7	71.7	65.4	72.4	43.5
2月	-4.1	17.1	4.6	16.6	2.5	25.3	64.5	56.0	64.6	112.0
3月	-2.4	21.8	8.3	18.5	2.3	22.5	68.2	62.4	68.5	143.0
4月	2.8	26.1	14.1	19.1	1.9	10.3	60.5	45.3	59.7	112.5
5月	6.2	33.0	19.0	17.8	2.2	13.4	61.1	52.2	62.4	141.5
6月	17.0	35.9	24.1	17.1	1.8	13.2	66.5	56.2	65.9	102.0
7月	19.1	37.4	26.8	19.2	1.6	31.2	73.3	65.0	73.4	149.5
8月	19.9	35.6	26.4	27.7	1.4	43.8	82.2	67.5	81.3	299.0
9月	13.5	32.8	22.6	12.3	1.6	25.3	73.1	62.8	73.9	151.0
10月	6.9	29.1	18.1	18.2	1.7	32.8	76.5	69.4	76.2	175.5
11月	2.3	23.6	12.4	16.5	1.4	29.6	79.2	71.5	78.3	122.0
12月	-4.2	14.6	4.7	17.0	1.9	35.8	82.6	75.1	82.7	91.5
年 間	-4.2	37.4	15.4	27.7	1.8	10.3	71.6	45.3	71.6	1,643.0

(観測地:大和消防出張所)

一宮市の警報・注意報発表基準

警報の種類		基準
暴風	平均風速	20m/s
暴風雪	平均風速	20m/s 雪を伴う
大雨(浸水害)	雨量基準	平坦地:3時間雨量 90mm
人的(反小吉)		平坦地以外:1時間雨量 80mm
	雨量基準	平坦地:3時間雨量 90mm
	N 里 基 毕	平坦地以外:1時間雨量 80mm
洪水	流域雨量指数基準	青木川流域=13
	///	大江用水流域=14
	複合基準	平坦地:3時間雨量70mmかつ流域雨量指数日光川流域=5
大雪	降雪の深さ	24時間降雪の深さ20cm

注意報の種類		基準			
強風	平均風速	13m/s			
風雪	平均風速	13m/s 雪を伴う			
	雨量基準	平坦地:3時間雨量 40mm			
大雨		平坦地以外:1時間雨量 30mm			
	土壤雨量指数基準	116			
	雨量基準	平坦地:3時間雨量 40mm			
洪水		平坦地以外:1時間雨量 30mm			
次 八	流域雨量指数基準	青木川流域=10			
	加	大江用水流域=11			
大雪	降雪の深さ	24時間降雪の深さ5cm			
電	落雷等により被害が	予想される場合			
乾燥	最小湿度30%で、乳	ミ効湿度60%			
濃霧	視程	100m			
霜	晩霜期に最低気温3℃以下				
低温	冬期:最低気温−4℃以下				
着氷・着雪	著しい着氷(着雪)が	予想される場合			
記録的短時間大雨情報	1時間雨量	100mm			



消防団の現況

消防団は郷土愛護の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震・風水害・火災 等の災害時においては、市民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平常時には、 火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割を果たしています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を機に大規模災害発生時の消防力の強化が極めて重要な課題となっております。本市においても平成24年4月1日から大規模災害及び昼間帯の建物火災のみに出動する支援団員制度を導入しました。

平成26年度中における主な活動は、火災出動延べ144回、1,291人、訓練出動延べ2,241回、17,659人でその他、出初式、観閲式、警戒警備等に出動し活躍しています。

このように地域防災の中核として広域な活動を任務とする消防団員に対して本市では、災害補償制度、退職報償金制度等の充実を図り、また、教育訓練の充実、若手リーダーの育成等に努めています。

消防団及び消防団員の状況

平成27年4月1日現在

団	分	定		消	防	団	現	員	数	
),		合	寸	副	分	副	部	班	団 へ
	団						分			支 援
					団	団	団			団員
数	数	数	計	長	長	長	長	長	長	員~
1	25	593	510(32)	1	4	25	25	25	25	405(32)

※()内は支援団員数

消防団の活動状況

平成26年度中

								- 1 /2 - 1
	合	火	訓	式	数言	水	風	点
□ □ /\					戒	難	→	
区 分					警	捜	水	
	計	災	練	典	備	索	害	検
延出動回数	2,799	144	2,241	52	123	13	4	222
延出動人員	21,409	1,291	17,659	564	1,350	99	24	422

年報酬額

平成27年4月1日現在

ľ	階 級			支援団員					
	P首 76X	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	団員
	金 額 (円)	125,000	104,500	72,500	54,000	42,000	40,500	39,000	10,000

費用弁償

平成27年4月1日現在

_							1 /3/201 1 .	
I	出動区分	災害出動	訓練等	観閲出動	出初め	警戒出動	年 末	機械点検
ı	山野区刀	火音山勁	出動	1111月11月11月11日11月11日11日11日11日11日11日11日1日11日1	出 動	言风山蛚	警戒出動	出動
I	金 額	2,800	1,700	2,600	2,600	2,200	2,600	2,000
I	(円)	以内	以内	以内	以内	以内	以内	以内

消防団員の退職状況

平成26年度中(単位 人)

退職	21歳	21歳以上	26歳以上	31歳以上	36歳以上	41歳以上	46歳以上	51歳
団員数	未満	25歳以下	30歳以下	35歳以下	40歳以下	45歳以下	50歳以下	以上
32		1	1	2	7	1	8	12

消防団員の新任状況

平成26年度中(単位 人)

						1 13/4/21/0		
新任	21歳	21歳以上	26歳以上	31歳以上	36歳以上	41歳以上	46歳以上	51歳
団員数	未満	25歳以下	30歳以下	35歳以下	40歳以下	45歳以下	50歳以下	以上
45		2	2	7	11	7	7	9

消防団員の職業構成と就業形態

平成27年4月1日現在(単位 人)

					十八八八	7 平4 万 1 1	日現仕(単位 人)
職	公	国	家	公	務	員	
業	務員	地	方	公	務	員	13
構	等	特殊	法人等位	5職員	21		
成	そ		の			他	476
	2	<u></u>	i	計			510
就	被	雇		用		者	297
業	自	営		業		者	136
形	家	族	従		事	者	11
態	そ		の			他	66

消防団員の年齢

平成27年4月1日現在(単位 人)

p-					- - - - - - - - - - - - - -	<u> </u>	1口坑江	(単位 人)
E /\	合	寸	副	分	副分	部	班	団、支援団員)
区分			団	団	寸			団員
	計	長	長	長	長	長	長	員〜
合計	510 (32)	1	4	25	25	25	25	405 (32)
21歳未満	1							1
21歳以上 25歳以下	8					1		7
26歳以上 30歳以下	16 (1)						1	15 (1)
31歳以上 35歳以下	38 (2)					1	3	34 (2)
36歳以上 40歳以下	71 (2)			1	4	2	1	63 (2)
41歳以上 45歳以下	99 (5)			1	2	3	9	84 (5)
46歳以上 50歳以下	95 (4)			5	4	7	5	74 (4)
51歳以上 55歳以下	76 (6)		1	7	8	6	4	50 (6)
56歳以上 60歳以下	46 (5)		1	4	1	3		37 (5)
61歳以上 65歳以下	34 (3)	1	2	3	4		1	23 (3)
66歳以上 70歳以下	24 (4)			4	2	2	1	15 (4)
71歳以上	2							2
平均年齢	47.1	64.0	59.5	55.4	51.9	49.2	45.6	46.1

※()内は支援団員数

消防団員の勤続年数

平成27年4月1日現在(単位 人)

	合	団	副	分	副	部	班	団(
区分			寸	寸	分 団			支援団員
	計	長	長	長	長	長	長	貝 員 ン
合 計	510 (32)	1	4	25	25	25	25	405 (32)
1年未満から5年	158 (10)			1	3	5	7	142 (10)
6年から10年	100 (3)			1	3	3	6	87 (3)
11年から15年	85 (3)			5	6	5	4	65 (3)
16年から20年	73 (9)		1	2	6	9	6	49 (9)
21年から25年	41 (2)			10	4	1	1	25 (2)
26年から30年	26 (2)			4	2	1	1	18 (2)
31年から35年	16 (1)	1	1			1		13 (1)
36年から40年	6 (1)		1	2				3 (1)
41年から45年	5 (1)		1		1			3 (1)
46年以上								
平均年数	12.1	31.0	33.3	21.8	16.6	13.7	10.9	10.9

※()内は支援団員数

子奶

火災予防普及活動状況

火災発生防止と火災発生時の早期通報、初期消火、避難誘導等一連の初期消火活動が行われるためには、市民一人ひとりの火災予防に対する理解と認識が必要であります。そこで市民の火災予防に対する認識を深めるために、春秋の火災予防運動を中心に市広報誌等に火災予防記事の掲載、また、事業所等の消防訓練時に防火管理体制の確立等幅広い広報活動を展開しています。

(上段:実施回数) 平成26年度中(下段:参加人員)

												1 130,20	1 /2 1	(1 1/0	. > /•	
区	9	分	市広	、報	掲	載	消	防	訓	練	研講	修演	会会	甲 種 ll 新 規 再	防 火 】 請 講	署 習
_	⊕L.					00				882			11			5
	計					26			61,	603			620			313
4		T				0				55			1			
4	月					2			2,	696			90			
-	П					-1				95			1	新規語	溝習	1
5	月					1			4,	889			30			96
6	 月					3				83				新規語	講習	1
O	Л					ა			5,	040						98
7	月					3				38			1			
1	Л					J			2,	247			100			
8	月					2				48			1			
O	Л					۷			4,	670			12			
9	月					1				119			3			
3	Л					1			12,	405			198			
10	月					3				93			2			
10	71									668			170			
11	月					3				127				新規	講習	2
	<u></u>								8,	277						99
12	月					2				59			1			
									4,	234			10			
1	月					3				37						
		\perp							5,	157						
2	月					1				61			1	再講	習	1
	· •	\downarrow							4,	053			10			20
3	月					2				67						
	/ 1	1				_			3,	267						

幼年・少年・婦人消防クラブの現況

平成27年4月1日現在

幼 年 消	防クラブ	少年消	防クラブ	婦人消防クラブ			
クラブ数	クラブ数クラブ員数		クラブ員数	クラブ数	クラブ員数		
91	10,225	42	7,593	11	399		

街頭消火器設置状況

平成27年4月1日現在(単位 本)

連	区	設 置 本 数	連区	力 日 現 仕 (単 位 本) 設 置 本 数
宮	西	338	今 伊 勢 町	634
貴	船	311	奥町	365
神	Щ	426	萩 原 町	496
大	志	266	千 秋 町	469
向	Щ	289	起	116
富	士	332	小 信 中 島	254
葉	栗	430	三条	302
西	成	846	大徳	276
丹	陽町	623	朝日	387
浅	井 町	520	開明	232
北	方 町	255	木 曽 川 町	900
大	和 町	977	合 計	10,044



1.安全栓を抜く



2.ホースを火元に向ける (ホースの先端を持つ)



3.レバーを強く握り 放射します

街頭消火器火災使用状況

平成26年度中

		建物	火災	車両	火災		成26年度中 の火災
区	分				Γ		<u> </u>
		件数	本数	件数	本数	件数	本数
合	計	5	6	2	2	0	0
4	月	1	1				
5	月	1	1				
6	月	1	2				
7	月			1	1		
8	月	1	1	1	1		
9	月						
10	月						
11	月						
12	月						
1	月						
2	月	1	1				
3	月						



查察对象物数

平成27年4月1日現在

	=	+ ch 在ni					十八2144	
防火	〈対象	物 查察種別	1 種	2 種	3 種	合 計	特定防火対象物	非特定防火 対 象 物
	合	計	1,207	1,725	1,349	4,281	1,765	2,516
1	イ	映 画 館 · 観 覧 場 等	6			6	6	
1	口	公 会 堂 ・ 集 会 場	83		69	152	152	
	イ	キャバレー・カフェー等	1		4	5	5	
	口	遊技場・ダンスホール	24			24	24	
2	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	2		7	9	9	
	=	カラオケボックス等	17			17	17	
3	イ	待 合 ・ 料 理 店	4			4	4	
3	口	飲食店	69		208	277	277	
4	ł	百貨店・マーケット	216		133	349	349	
-	イ	旅館・ホテル	22		1	23	23	
5	П	寄宿舎・共同住宅		756	344	1,100		1,100
	イ	病 院 ・ 診 療 所	87		27	114	114	
6	П	老人短期入所施設等	92			92	92	
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等	136		64	200	200	
	=	幼稚園・特別支援学校等	28			28	28	
7	7	小・中・高・大学校等	14	66	9	89		89
8	3	図 書 館 等		7		7		7
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場						
J	口	公 衆 浴 場		4	2	6		6
10	0	車両停車場・船舶・航空機発着場						
11	1	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会		10	43	53		53
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	32	396	46	474		474
13	イ	自動車車庫・駐車場	9	4		13		13
14	4	倉庫	33	223	13	269		269
18	5	官 公 署・事 務 所 等	12	184	147	343		343
16	イ	特定複合用途防火対象物	317		148	465	465	
10	口	特定以外の複合用途防火対象物	3	72	84	159		159
17	7	文 化 財 建 造 物		3		3		3
18		アーケード						

備考

- 1種:定期点検報告を必要とする、又は消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする特定防火対象物並びに5項ロを除く延べ面積5,000平方メートル以上の非特定防火対象物のほど、パーロの供の部間は、2015年に対した。
- 2種:消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする非特定防火対象物(第1種を除く)
- 3種:消防法第8条第1項に定める防火管理者を必要とする防火対象物(上記防火対象物を除く)

中高層建築物数

平成27年4月1日現在

		_														1 13/0	27年4	/ , I H	
			合	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	18	20	21
区		分																	
			計	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階
合		計	3,493	1,917	753	317	139	90	107	40	53	31	15	15	7	6	1	1	1
宮		屈	257	118	55	25	14	14	12	5	4	5	1		3	1			
貴		船	187	101	36	14	9	6	8	2	6	3	1	1					
神		山	403	175	102	19	26	16	23	17	13	4		5	1	2			
大		评	285	151	59	37	13	2	7		4		3	3	1	2	1	1	1
向		山	114	62	30	5	4	3	6	1	2	1							
富		士	124	68	24	16	5	4	3		3			1					
葉		栗	61	31	20	7		3											
西		成	204	124	44	20	4	3	5	2	2								
丹	陽	町	342	205	83	23	15	2	4	4	2	3	1						
浅	井	町	67	36	12	8	2	2	2	4		1							
北	方	町	31	16	6	3		2	3	1									
大	和	町	389	199	83	44	22	20	12	1	5	2	1						
今何	尹勢	町	176	114	23	11	7	4	3	2	2	4	4	1	1				
奥		町	85	59	12	5	2	1	3		2	1							
萩	原	町	80	46	15	7	2	3	4		1	2							
千	秋	町	74	46	21	7													
	起		23	17	2	1		1	1						1				
小作	言中	島	80	49	9	11	2	2	1		4	1	1						
三		条	122	71	20	17	5	1	3				2	3					
大		徳	63	27	20	10	2		1	1		1	1						
朝		日	42	19	17	5	1												
開		明	67	50	11	3	1				1	1							
木盲	身 川	町	217	133	49	19	3	1	6		2	2		1		1			

各種届出件数

平成26年度中

区分	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消防計画作成(変更)届	439	46	46	44	41	30	31	31	53	24	28	33	32
防 火・防 災 管 理 者 選 任 (解 任)届	520	114	49	65	44	34	28	34	29	27	30	30	36
全体についての消防計画作成(変更)届	2										2		
統括防火·防災管理者選任(解任)届	3	1									1	1	
防火対象物点検結果報告書	105	6	6	5	7	12	12	11	11	9	9	14	3
防災管理点検結果報告書	7		2		4					1			
管 理 権 原 者 変 更 届	2	1	1										
自衛消防組織設置(変更)届	5		2		1					1		1	
ボーイーラーー等設置届	29	5	3	7	3	2		1	1		1	3	3
変電設備設置届	43	2	2	6	2	1	2	2	8	3	4	9	2
燃料電池発電設備設置届													
発電 設備設置 届	27	1		1	1		11	2	5		1	4	1
蓄 電 池 設 備 設 置 届	34			5	16	3	3	2				3	2
ネオン管灯設備設置届													
火災とまぎらわしい煙・たき火届	101	2		1	4	1	5	4	17	58	7	2	
煙火打上げ・仕掛け届	47		6		5	10	4	3	3	6	6	3	1
溶 接 · 溶 断 作 業 届	55	8	2	10	6	6	5	2	4		1	7	4
催物 開 催 届	21	2	2	3	4	3	3	1	1			2	
水道断・減水届													
道 路 工 事 届	3,512	198	195	293	299	365	364	383	319	347	236	275	238
露 店 等 の 開 設 届	123				44	16	17	23	7	8	4	1	3
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱開始届		2	1	3	9		4	2	4	1	8	2	3
少量危険物貯蔵取扱届	19	2	1	3	1	1	7	1	1				2
少量危険物貯蔵取扱廃止届	4	1					1			2			
指定可燃物貯蔵取扱届	4			1			1						2
指定可燃物貯蔵取扱廃止届													
消防用設備等設置届	294	20	24	27	19	16	28	17	16	19	24	37	47
消防用設備等点検結果報告書	3,698	325	395	215	213	199	242	356	180	416	253	454	450
消防用設備等着工届	262	15	30	22	12	18	26	31	16	18	21	23	30
避 難 ・ 警 報 設 備 着 工 届	188	14	21	12	15	15	14	18	12	21	10	19	17
消防用設備等の特例適用願	22	3	2		2	4			2	1	2	3	3
防火対象物使用開始届	141	23	3	11	13	8	15	12	5	6	10	14	21
喫 煙 等 の 禁 止 解 除 申 請	86	10	14	8	11	2	3	3	2	9	6	6	12
指 定 洞 道 等 届	1				1								
消防訓練実施届	888	66	117	50	41	80	103	119	110	34	49	60	59
防火防災訓練実施届	177	62	22	13	9	17	13	17	5	6	5	2	6

用途別同意建築物数

平成26年度中

防		火 対	象	物	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	1	<u></u>	計		487	35	68	35	38	44	39	53	43	38	33	31	30
1	イ	映 画館・	観覧場	易 等													
1	П	公会堂	集会	場	4					1			1	2			
	イ	キャバレー	・カフェー	一等													
2	l	遊技場・タ			2					1				1			
	ハ	性 風 俗 営 業	関 連 特 店 舗	· 殊 等													
		カラオケ															
3	イ	待 合 ・	料 理	店													
J	口	飲	食	店	8	2				1			1	2		1	1
	4	百貨店・	マーケ	ット	34	3	5	2	2	2	1	2	5	4	1	5	2
5	イ	旅館•	ホテ	ル													
J	口	寄宿舎・	共同住宅	言等	32	2	3	1	3	5	2	1	4	1	3	3	4
	イ	病 院 • 清	診療 所	等	13	1			1		3		3	1	3		1
6	口	特定社会	福祉施設	少等	14		1	4				3	2	2	1	1	
	ハ	社会福祉施	設•保育	園等	8	1			1	2		1	1	1			1
	二	幼 稚 園・特	寺別支援*	学校													
,	7	小・中・高	・大学を	交 等	2										1		1
	8	図書	館	等													
9	イ	蒸気浴場	・熱気浴	分場													
	口	公 衆	浴	場													
1	0	車両の	停車場	等													
1	1	神 社・寺	≒院・教	会	1					1							
12	イ	工場・	作業	場	15	1		2		3	1	3		1	3		1
13	イ	自動車車	庫・駐耳	直 場	24	2	1		1	3	2	3	4		2	3	3
1	4	倉		庫	23		4	3	1		6			2	4		3
1	5	官公署・	事務所	ý 等	92	7	38	3	5	5	3	8	5	7	6	2	3
16		特定複合用			14	3			2	3	1		2			2	1
	口	特定以外防 火	の 複 合 月 対 象	目途 物	2								2				
専		用	住	宅	199	13	16	20	22	17	20	32	13	14	9	14	9

危険物施設数

平成27年4月1日現在

					F	拧			戸	F			取	27年4 扱	/11 E 所	76124
		合	製		屋	屋	屋	地	簡	移	屋		給	1/2	121	販
				小	/ 	外外	上内	下	易	動		小	/\⊔ 	セ		7VX
					内	タ	タ	タ	タ	タ	外		油	ル	般	売
区	5.	}	造			ン	ン	ン	ン	ン				フ		
					貯	ク	ク	ク	ク	ク	貯		取	給	取	取
					蔵	貯	貯	貯	貯	貯	蔵		扱	油 取	扱	扱
		計	所	計	/EX	蔵	蔵	蔵	蔵	蔵	/底	計	100	扱扱	1/2	100
		ĀΙ	ולח	ні	所	所	所	所	所	所	所	ні	所	所	所	所
合	計	458	3	285	61	51	40	95		32	6	170	119	34	50	1
宮	西	11		5	2		1	2				6	3	1	2	1
貴	船	10		5		2		3				5	3	2	2	
神	山	19		15	1	4	2	2		6		4	1		3	
大	志	3		2				2				1			1	
向	Щ	13		9	1			4		3	1	4	3	1	1	
富	士	9		4			1	3				5	4	1	1	
葉	栗	12		6		1		4			1	6	6	2		
西	成	35		21	2	8	1	6		4		14	13	2	1	
丹	陽町	42		26	9	1	1	13		2		16	13	4	3	
浅	井町	16		9	1	1	3	4				7	3	2	4	
北	方 町	18	3	11	1	3		6			1	4	2		2	
大	和町	36		19	4		2	12			1	17	12	5	5	
今	伊勢 町	17		13	5	2	3	2		1		4	2	2	2	
奥	町	18		14	2		5	7				4	3	1	1	
萩	原町	33		16	4	3	1	2		6		17	14	2	3	
千	秋 町	15		8	1	1	2	3		1		7	7	1		
	起	7		4		2	2					3	1		2	
	信中島	5		4	1	1	2					1	1			
三	条	15		6	1	1	2	2				9	6	4	3	
大	徳	12		9		1	3	4		1		3	1		2	
朝	日	55		42	17	11	3	8		3		13	5		8	
開	明	25		19	6	2	4	5		1	1	6	3	1	3	
木	曽 川 町	32		18	3	7	2	1		4	1	14	13	3	1	

指定数量の倍数・類別危険物施設数

平成27年4月1日現在

								貯		庫	<u>×</u>		FIC.		1 13/	以27年 取			/11 11.
						#ail							所	艮			扱	所一	HE:
1					合	製		屋	屋	屋	地	簡	移	屋		給	J.	_	販
1							小	LT.	外	内	下	易	動	LI	小	1.6	セ	4.11	
								内	タ	タ	タ	タ	タ	外		油	ルー	般	売
	区		分			造		m.t.	ン	ン	ン	ン	ン	m, t			フ		
								貯	ク	ク	ク	ク	ク	貯		取	給	取	取
								±₩	貯	貯	貯	貯	貯			ᄺ	油	Д . 7	<u> Тт</u> т
					計	ᇎ	計	蔵	蔵	蔵	蔵	蔵	蔵	蔵	計	扱	取	扱	扱
						所	н.	卍						記	μ'	記	扱	元	記
<i>=</i> /r-		<i></i>	⇒ п.	业.	450		00-	所	<u>所</u>	所	所	所	所	所	150	所	<u>所</u>	所 50	<u>所</u>
許 ——	可 I	施	設	数 ——	458	3	285	61	51	40	95		32	6	170	119	34	50	1
	5倍以				150		123	25	9	23	40		24	2	27			26	1
	5倍を 	と超え	10倍.	以下	103	1	81	19	13	17	28			4	21	6		15	
倍	10倍	を超え	50倍.		114	1	66	15	27		22		2		47	39		8	
	50倍	を超え	100倍.		15	1	12	2	1		3		6		2	1		1	
	100	音を超え			9		1				1				8	8			
数	1504	音を超え	150倍.	以下			1				1								
			200倍.	以下	19		1		1						18	18	2		
		音を超え 1	, ,000倍.	以下	48		1				1				47	47	32		
別	1,00	0を超え	,000倍.																
	5,00	0倍を超	え																
	1 00		,000倍. nゥスォ																
	1,00	00倍を起																	
		第	1	類	1		1	1											
類	単	第	2	類															
		第	3	類															
		第	4	類	454	3	281	57	51	40	95		32	6	170	119	34	50	1
	独	第	5	類	1		1	1											
別		第	6	類															
		 混	 在		2		2	2											
		=	,					_											

危険物施設の設置・変更許可等

平成26年度中

_							_											_		リスムし		`
									#arl			貯	盾	銰	所				取	扱	所	
								合	製		屋	屋	屋	地	簡	移	屋		給			販
										小	,	外	内	下	易	動	,,	小	.	セ		
											内	タ	タ	タ	タ	タ	外		油	ル	般	売
		区			分				造		마스	ン	ン	ン	ン	ン	마수		H -	フ	H .	H .
											貯	ク	ク	ク	ク	ク	貯		取	給油	取	取
											蔵	貯	貯	貯	貯	貯	蔵		扱	油取	扱	扱
								計	所	計	/#	蔵	蔵	蔵	蔵	蔵	/450	計	1/2	扱	1/2	1/2
									// 1		所	所	所	所	所	所	所		所	所	所	所
⇒/r·			ਜ਼ਾਂ	設			置	8		4	1			3				4	3		1	
許			可	変			更	40	1	2				2				37	17	9	20	
仮		使	F	Ħ	承		認	36		1				1				35	15	8	20	
<u>-</u>	-4-	+☆	*	設			置	7		3	1			2				4	3	2	1	
完	成	検	査	変			更	35	1	2				2				32	15	8	17	
仮	貯	蔵 ・	仮	取	扱	承	認	2	2													

タンク検査状況

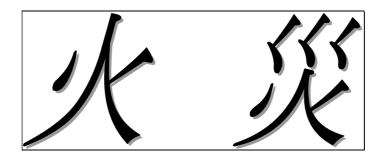
平成26年度中

検	査	区	分	容量	件 数	小 計	合 計
				1万リットル以下のタンク	9		
→	張	捡	木	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク		9	
八	灰	検	査	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク		9	
				10万リットルを超えるタンク			11
				1万リットル以下のタンク	2		''
→	圧	検	查	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク		9	
水)土.	1円	11.	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク		2	
				10万リットルを超えるタンク			

危険物施設届出等状況

平成26年度中

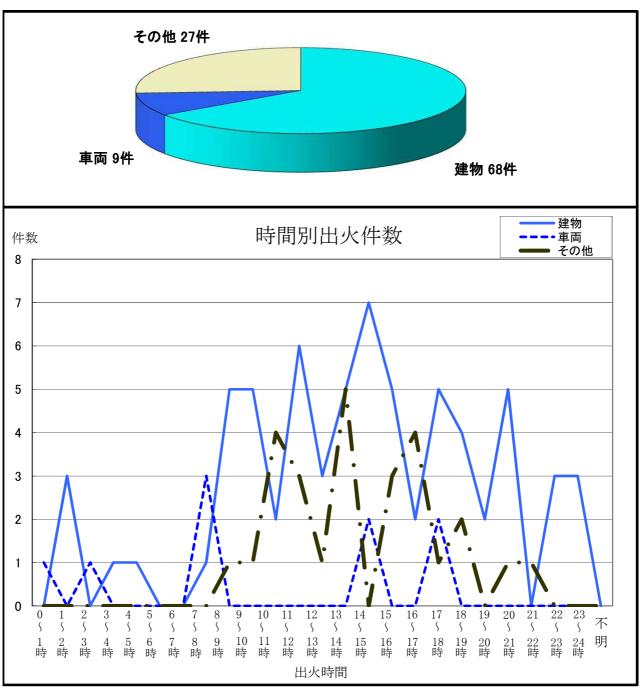
234	合計
9	予防規程制定・変更認可申請
2	譲渡引渡届
1	品名・数量・倍数変更届
24	廃止届
37	変更届
5	事故発生届
2	休 止 ・ 再 開 届
1	許可書等再交付申請
1	設置・変更取りやめ届
	設置・変更許可申請取下書
31	保安監督者選任・解任届
84	資 料 提 出 書
	火 気 使 用 届
35	軽 微 工 事 届
2	地下貯蔵タンク等に関する計画届



火災の概況

平成26年中

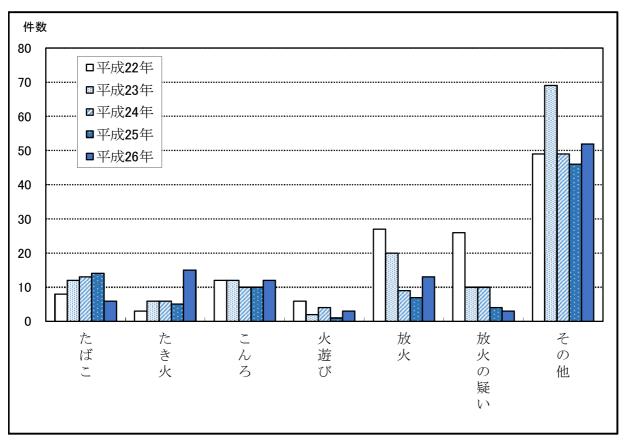
区分	火災	1	火災種別	<u>3</u> 1]	焼損棟数	り災 世帯数	死者	負傷者	建物焼損床面積	建物焼損 表面積	その他	損害額
区刀	件数	建物	車両	その他	(棟)	(世帯)	(人)	(人)	(m²)	(m²)	(m²)	(千円)
合計	104	68	9	27	104	67	5	13	4,255	167	6,665	248,407



出火原因

(単位 件)

区分	合 計	たばこ	たき火	こんろ	火遊び	放火	放火の疑い	その他
平成22年	131	8	3	12	6	27	26	49
平成23年	131	12	6	12	2	20	10	69
平成24年	101	13	6	10	4	9	10	49
平成25年	87	14	5	10	1	7	4	46
平成26年	104	6	15	12	3	13	3	52





建物用途別-原因別件数

平成26年中

								1 13/2	20十十
区	合		住 宅	火 災		店	工場.	飲	ح
分	計	計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	舗	作業場	食 店	他
合 計	68	41	30	9	2	4	5	1	17
たばこ	3	3	1	1	1				
こんろ	12	11	8	2	1	1			
風呂かまど									
ストーブ	3	3	3						
電気機器	1	1	1						
電灯・電話等 の配線	4	1	1			2		1	
配線器具	3	2	1	1					1
灯 火									
放火	10	5	4	1					5
放火の疑い									
その他	19	5	4	1		1	4		9
不明	13	10	7	3			1		2

連区・月別の火災件数

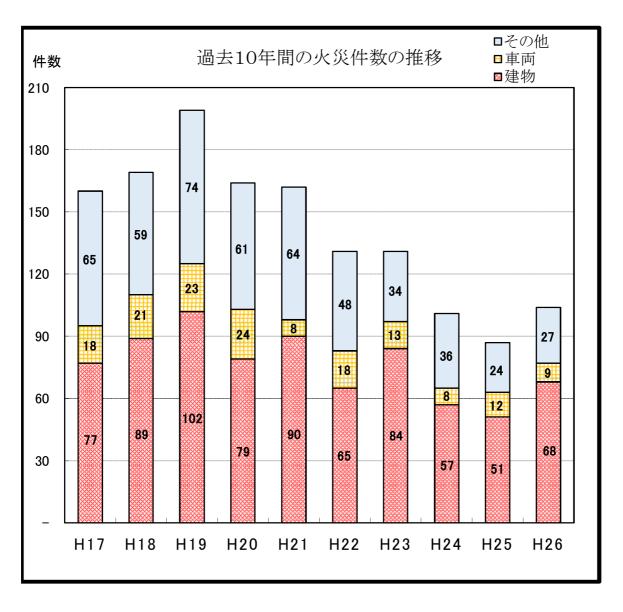
				種 5	引 件	数		り災棟数				り 災 世 帯			
			合	建	物	車	そ	全	半	部	ぼ	全	半	小	ŋ
 		\wedge		延	不										災
区		分			延		0			分					
					<u>æ</u>										人
	^ = ⊥		計 104	焼	焼	両 9	他	焼	<u>焼</u> 7	焼	や	損	損 	損	員 160
	<u> </u>		104	17	51	9	27	23	,	27	47	19	o o	43	163
宮貴		西船	3		3		1	1			3	6		1	6 5
<u>貝</u> 神		加山	2				1			1	J	1		1	15
大		地志	1		1		1			1	1	1		1	2
向		山	3		3					1	2			2	6
富		士	3		3					1	3			۷	0
葉		土栗	6	2	3		1	2		2	5	1		3	14
西西		成	7	1	3		3	2	1	1	1	2	1	2	11
丹		町	11	1	7		3	1		4	3	1		2	8
浅	井	町	2		1		1			1				1	5
北	方	町	4	2		2		2		2	2	1		3	11
大	和	町	12	1	6	2	3	1		2	5	1		4	10
今	伊勢	町	3		2		1				2			1	2
奥		町	4	3			1	2	2	4	1	2	2	3	14
萩	原	町	9		3	2	4		1	1	1		1	2	7
千	秋	町	8	2	2	1	3	5		4	1			3	10
	起		1		1				1						
	信中	島	3	1	2			1	1	1	6	1	1	5	15
三		条													
大		徳	6	2	1	1	2	2		2	1			2	5
朝		日	5	2	2	1		3	1	1	5	2		1	5
開		明	3		1		2				1			1	3
木		町	4		3		1				2	1		2	9
	1月		12	2	8		2			3	6	8		7	33
_	2月		11		7	1	3		1	4	2		1	3	10
_	3月		10		4		6			1	2			1	2
<u> </u>	4月		6	2	2		2		1	1	3	1	1	2	9
<u> </u>	5月		17	5	6	2	4		1	5	12	4	1	13	46
<u> </u>	6月		9	1	4	1	3			2	4	1		3	9
<u> </u>	7月		8	2	3	1	2		2	2	5	1	1	3	13
<u> </u>	8月		6	1	3	2		1		3		1		3	14
<u> </u>	9月		12	4	2	2	4		2	4	3	1	1	3	9
<u> </u>	10月		3		2		1	1			1	1			4
_	11月		3		3					1	2			1	1
	12月		7		7			1		1	4	1		4	13

平成26年中

										<u> </u>	平成26年中
	多者	焼 損	面積	₹ (m²)		損	害	額 (千円			
死	傷	床面	表面	その	合	建	収容	車	その	爆	火災 一件 当 た り の 損 害 額
		IHI	Щ	V			台		0)		(千円)
者	者	積	積	他	計	物	物	両	他	発	
5			167	6,665	248,407	218,961	26,089	2,492	696	169	2,389
		166		29	8,176	7,586	590				2,044
					341		341				114
	1	82	5		18,358	15,920	2,438				9,179
		3			267	259	8				89
	1				25	3	22				8
		446	32	606	12,774	6,839	5,935				2,129
1		293	4	116	39,254	35,678	3,290		286		5,608
		55	23	409	2,963	2,080	497		217	169	269
1		12		154	812	812					406
1	1	1,159	13		35,517	31,908	2,153	1,456			8,879
	1	231	11	300	38,548	37,126	1,042	365	15		3,212
	1			60	61	13	48				20
2	1	437	19		40,140	35,590	4,550				10,035
	1	68		1,551	8,832	8,254	411	167			981
	1	646	54	1,990	7,186	5,596	1,060	428	102		898
		80			2,032	2,032					2,032
	1	123	1		11,612	9,657	1,955				3,871
	1	103	3	206	1,324	1,307		16	1		221
	1	199	1	34		3,657	536	60			851
				1,210			1				
	2		1		15,931	14,644	1,212		75		3,983
	2	1,079	49	1,816		76,162	5,395	7			
	1	65	17	671	9,514	8,753	211	264	286		
		5		2,528		259	8		1		
	1	149	1	154		9,462	446				
1	5		20	819		51,069	8,056		90		
1		1,159	9	341	34,865	31,936	2,178		216		
	3		9	240		5,914	486		102		
		337	38		12,168	6,798	5,280				
1	1	497	21	96	15,485	13,141	2,040	303	1		
		152			16,158	14,643	1,515				
			2		11	11	.= .				
2		15	1		1,456	813	474			169	

過去10年間の火災発生件数

区分	火	災	災 件 数		焼損床面積	死傷	傷者	損害額	
<u></u>	合計	建物	車両	その他	(m^2)	死者	傷者	(千円)	
平成17年	160	77	18	65	4,258	7	9	284,098	
平成18年	169	89	21	59	7,986	5	35	823,324	
平成19年	199	102	23	74	7,103	9	19	496,587	
平成20年	164	79	24	61	2,016	10	15	120,129	
平成21年	162	90	8	64	3,945	5	27	166,070	
平成22年	131	65	18	48	3,362	8	20	121,566	
平成23年	131	84	13	34	2,616	7	15	162,609	
平成24年	101	57	8	36	1,818	2	20	116,025	
平成25年	87	51	12	24	3,307	3	6	201,673	
平成26年	104	68	9	27	4,255	5	13	248,407	



夢防

消防車両の配置状況

消防本部·消防署

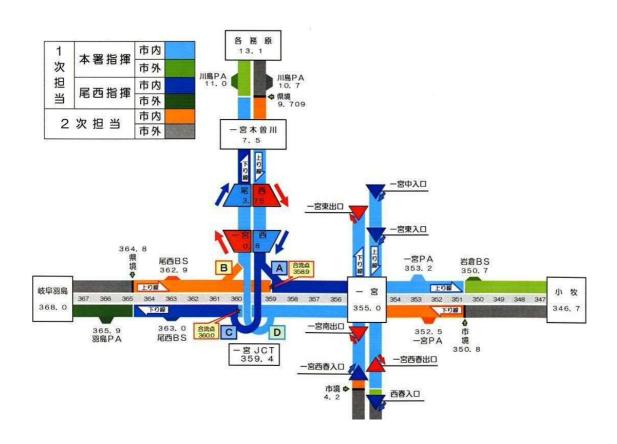
平成27年4月1日現在

	区 分	車		両	
		司令車	2台	高所作業車	1台
	 本 部 · 本 署	指揮車	1台	高規格救急自動車	2台
		水槽付消防ポンプ自動車	3台	広報車	9台
		はしご付消防自動車	1台	搬送車	2台
宮	西成消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台		
	 千秋消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
消		消防ポンプ自動車	1台		
17-1-	浅井消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台		
防		司令車	1台	高規格救急自動車	1台
署	八幡消防分署	水槽付消防ポンプ自動車	1台	広報車	1台
		救助工作車	1台		
	大和消防出張所	化学消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	2台
	丹陽消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
		司令車	1台	高所作業車	1台
尾		指揮車	1台	高規格救急自動車	2台
西	尾西消防署	水槽付消防ポンプ自動車	2台	広報車	3台
消		化学消防ポンプ自動車	1台	機材輸送車	1台
防		はしご付消防自動車	1台		
署	萩原消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	2台	高規格救急自動車	1台
	今伊勢・奥消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	2台	高規格救急自動車	1台
木		司令車	1台	高規格救急自動車	2台
曽	木曽川消防署	水槽付消防ポンプ自動車	2台	広報車	2台
川消		救助工作車	1台	搬送車	1台
防	葉栗消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
署	北方消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台		

高速道路の火災

平成10年12月13日、東海北陸自動車道が一宮JCT~尾西ICの開通により 名神高速道路と結ばれ、さらに平成17年2月11日名古屋高速道路16号線が開通 しました。

これに伴い本市の第1次担当区域は、下図に示すとおり広範囲になりました。



<過去10年間の出動件数>

区分	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
計	6(1)	7	8	5(1)	3(1)	2	2	(1)	1	2(1)
車 両	6(1)	6	8	4(1)	3(1)	2	2		1	2(1)
その他		1		1				(1)		

()内は管外出動

平成17年2月以降、名古屋高速道路16号線を含む

災害種別の出動状況

	区	分	出動件数(件)	出動車両数(台)	出動人員(人)
	合 計(1)+(2)+(3)	2,872	3,693	13,570
	小	計(1)	104	712	2,602
		建物火災	62	546	2,002
	一般火災	高 層 火 災	6	51	188
		車 両 火 災	7	25	91
١.		その他の火災	27	79	281
火		地 下 火 災			
	特殊火災	特殊車両火災			
		航空機火災			
災	特 別 火 災	指定建物火災			
		危険物施設火災			
		車 両 火 災	2	11	40
	高速自動車道	車両以外の火災			
		その他の火災			
	小	計(2)	123	176	647
	特別な	アス 漏れ			
警	ガス	漏れれ	4	17	63
	怪	煙	9	18	68
	漏	油	80	82	301
戒	火 災	警 戒	5	15	58
	そ	の他	25	44	157
	小	計(3)	2,645	2,805	10,321
	焼損	事 故	24	77	279
	誤	報	19	91	329
	虚	報	2	21	80
	応 援(火 災	• 警 戒)	1	7	25
	救 急	支 援	2,599	2,609	9,608

消防活動用資器材の配置

平成27年4月1日現在

					配			置		場			所		
		合	本	西	千	浅	分	大	丹	尾	萩	今伊	木	北	葉
	区 分	計										勢•	曽		
			署	成	秋	井	署	和	陽	西	原	奥	Ш	方	栗
	かぎ付はしご	8	2				1			4			1		
	三連はしご	22	3	1	1	1	2	1	1	3	2	2	3	1	1
	金属製折りたたみはしご 又 は ワ イ ヤ - は しご	5			1		1	1	1		1				
	空気式救助マット	3					1			1			1		
般	救 命 索 発 射 銃	2					1						1		
救	サ バ イ バ ー ス リ ン グ 又 は 救 助 用 縛 帯	38	3	1	2	2	9	1	1	7	2	2	6	1	1
p ₁ .	平 担 架	7	1				2			3			1		
助	バスケット担架	3					1			1			1		
器	滑車	50	9				20						21		
具	送 排 風 機	2					1						1		
	安 全 帯	45	16				10			15			4		
	緩 降 機	2								1			1		
	マンホール救助器具	3	1				1						1		
重量	油圧ジャッキ	18	1	1	2	1	2	1	1	2	1	2	2	1	1
重物	油圧スプレッダー(大型含む)	6			1		1		1	1			1		1
排	可搬ウインチ	10	2		1		2			3			2		
除器	油圧切断機(大型含む)	9			1		2		1	2			2		1
具	マット型空気ジャッキー式	3					1			1			1		
破	エンジンカッター	13	1		1	1	2		1	2		1	2	1	1
	空 気 鋸	4					2			1			1		
壊	空 気 切 断 機	4					2						2		
	ガス溶断器	2								1			1		
切	チェーンソー	4	1				1			1			1		
	鉄線鋏(カッター)	32	6	1	3	1	3	1	1	4	3	3	2	1	3
断	万 能 斧	43	6	1	3	2	6	4	3	4	2	3	6	1	2
器	携帯用コンクリート破壊器具	2					1						1		
具	削 岩 機	5	2				1			1			1		
	ハンマドリル	6	1				1			1			3		
測	放射線測定器	10	2				1			1	1	1	3	1	
定	可燃性ガス測定器	23	3	1	2	1	2	1	1	3	2	2	3	1	1
	有毒ガス測定器	3					1			1			1		
器	ポケット線量計	32	5				6			3	5	3	5	5	

平成27年4月1日現在

									配			置		場		5义.27°	所	IΗ	
						•	本	西	千	浅	分	大	丹	尾	萩	今	木	北	—— 葉
		区		分		合	/ ^		'	12),	人)1	卍	191	伊		10	未
		_		7		計										勢 •	曽		
							署	成	秋	井	署	和	陽	西	原	奥	Ш	方	栗
	防	毒	マ	ス	ク	46	10		3		8	3	3	3	3	3	7		3
N B	化	学	防	護	服	15	5				5						5		
С	陽	圧 式 イ	化学	总防護	服	11	3				5						3		
対 策	放	射線	泉(呆 護	服	6					3						3		
	除	染:	ン ・	ヤワ	_	1	1												
大規	エ	アー	_	テン	ト	4	2							1			1		
大規模災害	画	像	探	索	機	2					1						1		
害	熱	画像	直	視装	置	2	1							1					
	潜	水岩	뭄 및	具 一	式	10											10		
水	救	命		胴	衣	286	40	12	16	15	25	16	16	38	20	16	36	12	24
難	水	中	投	光	器	10											10		
器	救	命		浮	環	38	6	1	3	1	3	2	2	5	3	3	6	1	2
	浮				標	3											3		
具	救	命	ボ	<u> </u>	ト	32	4	2	2	2	3	2	2	3	2	2	3	2	3
	船		外		機	8	2							2			3		1
呼吸	空	気	呼	吸	器	115	17	4	8	4	18	4	4	17	8	8	15	4	4
呼吸保護器具	酸	素	呼	吸	器	10					5						5		
具	簡	易	呼	吸	器	5					2						3		
隊	防	塵	マ	ス	ク	115			10	5	10								
員	防	塵	メ	ガ	ネ	73	8	4	3	4	10	4	6	3	7	9	5	4	6
	耐	電		手	袋	20	3		1		5		1	4			5		1
保	耐一		電		衣	4					2						2		
護	耐工	電	ズ		ン ************************************	4					2						2		
器	耐	電		長	靴	10	3				2			3			2		
具	携	帯	警	報	器	86	11	4	7	4	9	4	4	11	7	8			4
六	耐	· · ·	熱		服	10					_	5		2			3		
	投	光	器	<u> </u>	式	26	4	1	1	1	5	1	1	3	2	2	3		1
そ	携	帯	投.	光	器	108	22	3	7	4	14	7	4	15		8		2	7
				サーチラ	\dashv	24	4	1	2	1	2	1	1	4	2	2	2	1	1
0)	携		無		\dashv	39	7	1	3	1	3	2	2	7	3	3			2
他				ンシーノ	\dashv	170	43	4	11	4	12	10	7	28	11	11	18		7
				用 セッ ———	\dashv	30	4	1	2	1	2	3	2	4	2	2		1	2
	加	圧	排	煙	機	2					1						1		

月別庁外業務活動状況

業	務 種 別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	平成2 11月	12月
	合 計	29,153	2,557	2,377	2,386	2,592	2,510	2,331	2,364	2,293	2,310	2,423	2,443	2,567
Г	火災出動	104	12	11	10	6	17	9	8	6	12	3	3	7
	救急出動	15,592	1,430	1,287	1,262	1,242	1,239	1,172	1,341	1,373	1,286	1,202	1,257	1,501
災	救急支援	2,599	290	244	235	187	198	185	179	212	207	197	207	258
害	救助出動	196	15	16	11	20	21	12	21	14	17	12	17	20
出	警戒出動	123	17	9	9	10	7	11	10	14	11	8	8	9
動	捜索活動	1						1						
	応援出動	1										1		
	誤報等出動	19	1		2	1	1	2	4	2	2	1		3
焼	損 事 故	24	3	1	1	4	1	1	4	1	2	3	1	2
火	災 調 査	104	12	11	10	6	17	9	8	6	12	3	3	7
演習	署所訓練	5,847	353	428	381	716	603	511	490	445	466	514	548	392
· 訓	全署訓練	67	8	4	1	4	9	3	3	11	13	1	5	5
練	合同訓練	9		2			3				3		1	
広報	消火器取扱 訓 練	61	1	2	3	1	9	5	4	5	7	6	12	6
· 指	予防広報	214	1	17	80	20	9					1	75	11
導	その他	12		6	1			1	1	1	1			1
特別	警 戒 巡 回	236	37	16	18	2	5	26	9	1	15	107		
警戒		31			20	11								
	消 防 水 利 調 查	643	34	28	57	64	105	114	38	30	62	35	37	39
警	防火井戸性能試験	182			46	131	5							
防	空地等調査	313	101	31	26	2	2					54	63	34
調	広 聴 調 査	345	33	20	21	19	16	21	30	33	44	38	40	30
査	対象物調査	48	2	6	13	2		3	7	4	4	2	3	2
	その他	33	6	4	3	6	4	1			3	2	1	3
予	防査察	737	135	152	85	1	1	2	36	8	13	85	68	151
	街頭消火器 点 検	531	24	31	35	36	73	70	67	38	63	30	37	27
そ	消防防災施設点検	291	20	21	16	19	17	17	35	26	27	57	16	20
の他	救命講習· 救急法指導	411	7	14	22	19	54	93	43	35	29	42	32	21
	消防団訓練 指 導	295	9	10	17	61	89	58	14	12	3	9	2	11
	その他	84	6	6	1	2	5	4	12	16	8	10	7	7

消防水利の現況

													平	成27年			児在
					公		設			私		設			その		
			合	ıl.	消	防	防火	水 槽	یار ا	消	防	防火	水槽	را ا	プ	貯	そ
区		分		小		火	40	100	小		火	40	100	小			
	•	JJ			火		5 100	$ m m^3$		火	l	100	m³			水	\mathcal{O}
			計	計		井	m ³	以 上	計		井	m ³	以	計			
			P I	PI	栓	戸	未満	上	рι	栓	戸	未満	上	рі	ル	池	他
			5,100	4,968	3,988	605	354	21	47		4	31	12	85	80	2	3
 	ì	it	3,647	3,604	3,006	223	354	21	43			31	12				
			151	146	132	5	6	3	1			1		4	4		
宮		西	122	121	111	<u>0</u>	6	3	<u>1</u>			1					
.		411	132	130	127	1	1	1	1			1		1	1		
貴		船	117	116	113	1	1	1	1			1					
神		山	192	187	167	11	7	2	2			2		3	3		
7十		щ	173	171	155	7	7	2	2			2					
大		竔	98	97	88	2	4	3	ļ		ļ		[]	1	1		
Ĺ		, ii,	94	94	87		4	3									
向		山	102	99	89	7	3		ļ		ļ	ļ		3	3		
			79	79	71	5	3										
富		士	153	150	139	6	4	1	11	ļ	ļ	1		2	2		
			136	135 272	128	37	4 19	1	3			1	2	5	5		
葉		栗	280 220	212	216 174	37 24	19 19		3 3	l	ļ	1 1	2	<u>ə</u>	<u>ə</u>		
		_	490	479	376	54	48	1				1		10	10		
西		成	384	383	302	32	48	1 1	1 1		ļ	1		10	10		
			375	369	334	26	9	1	1			1		5	4	1	
丹	陽	町	261	260	240	11	9		1		······	1					
.AE	44.	шт	267	262	197	37	27	1	1			1		4	4		
浅	井	町	212	211	161	22	27	1	1			1					
-1\-	方	町	149	147	110	8	29							2	2		
16)J	щ1	119	119	90		29										
大	和	町	452	437	347	51	37	2	8		1	6	1	7	7		
	7 14	1	326	319	256	24	37	2	7			6	1				
今	尹勢	岬	188	177	145	20	12		7		ļ	4	3	4	3	1	
			136	129	106	11	12		7			4	3		0		
奥		町	139	131	107	7	16	1	3		ļ	3		5	2		3
\vdash			65	62	45	E E	16	1	3		1	3	1	1	1		
萩	原	町	339 238	333 237	262 201	55 20	15 15	1 1	2 1	l	1	ļ	<u>1</u>	4	4		
			303	294	238	31	25	1	2		2		1	7	7		
千	秋	町	232	232	189	18	25 25		'.					-			
\vdash	+7		58	56	40	13	2	1	1				1	1	1		
	起		33	32	29		2	<u>1</u>	<u>.</u> 1		ļ	·····	1	-	····· ·		
ار ا	言中	白.	130	128	91	34	2	1						2	2		
\1,1	百十	퍼	58	58	54	1	2	1									
三		条	183	179	127	45	4	3	2		ļ <u> </u>		2	2	2		
		√ \¯	97	95	84	4	4	3	2				2				
大		徳	127	124	95	26	3		1		ļ	.	1	2	2		
Ĺ		Pa.	56	55	42	10	3		1				1	<u> </u>			
朝		日	323	319	230	84	5				ļ			4	4		
\vdash			114	114	94	15	5					4		0	0		
開		明	118	114	93	19	2		11		ļ	1		3	3		
\vdash			78 251	77 338	68 238	7 26	74		9			8	1	1	4		
木	曽川	町	351 297	338 288	238 206	26 8	74 74		9	l	ļ	8 8	1 1	4	4		
/ / #			に加えが作			δ -71.0	14		y			0	1	l			

(備考)下段は消防水利基準に該当するもの

応援協力計画

大規模な災害または特殊な災害が発生し、本市の消防力だけでは対処不可能な場合には関係協力機関に応援協力を要請し、消防隊の効率的な運用により的確な災害活動を行い、被害を最小限に防止するため一宮市消防本部は、様々な応援協定等を締結しています。

平成27年4月1日現在

	応 援 協 定 等
1	大規模災害消防応援実施計画
2	愛知県内広域消防相互応援協定
3	愛知県消防広域応援基本計画
4	愛知県消防活動等援助要綱
5	愛知県緊急消防援助隊受援計画
6	愛知県下高速道路における消防相互応援協定
7	高速道路における消防相互応援協定(名神)
8	高速道路における消防相互応援協定(東海北陸)
9	愛知県防災ヘリコプター支援協定
10	愛知県防災ヘリコプター緊急運航要領
11	ドクターへリ運航要領
12	尾張西北部地区消防相互応援協定
13	木曽川流域消防相互応援協定
14	大規模特殊災害時における広域航空消防応援実施要綱
15	消防相互応援協定(岐阜県各務原市)
16	航空事故に伴う災害発生時の連絡調整に関する協定
17	航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定
18	災害活動の協力に関する協定
19	都市ガス災害対策に関する業務協約
20	LPガス災害対策に関する業務協約

緊急消防援助隊の概要

・緊急消防援助隊は、平成7年1月17日の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動等を、より効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、全国の消防本部に協力を得て平成7年6月に創設されたものであり、一宮市消防本部は、消火部隊3隊、救助部隊1隊、救急部隊2隊、後方支援部隊1隊が登録されています。

緊急消防援助隊の派遣について

【平成16年 福井豪雨】

・平成16年7月17日から18日にかけて発生した豪雨により、福井県全域に被害が出たため、平成16年7月18日から19日までの間、緊急消防援助隊愛知県隊として福井県に派遣隊数1隊(5名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	7/18~7/19	消火部隊	5名	福井県福井市西木田地区で検索救護

【平成23年 東日本大震災】

・平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の津波の影響により、東北地方各地に被害が出たため、平成23年3月12日から4月24日までの間に、緊急消防援助隊愛知県隊として宮城県に派遣隊数29隊(103名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第2次隊	3/12~3/15	消火部隊 救助部隊 後方支援部隊	12名	宮城県亘理郡亘理町及び山元町で捜索
第3次隊	3/13~3/16	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町及び山元町で捜索
第5次隊	3/17~3/22	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町及び山元町で捜索
第6次隊	3/20~3/25	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第7次隊	3/23~3/28	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第8次隊	3/26~3/30	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第9次隊	3/29~4/3	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第10次隊	4/1~4/6	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第11次隊	4/4~4/9	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第12次隊	4/7~4/12	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第13次隊	4/10~4/15	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第14次隊	4/13~4/18	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第15次隊	4/16~4/21	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索
第16次隊	4/19~4/24	救助部隊 後方支援部隊	7名	宮城県亘理郡亘理町で捜索

第1・4次隊の派遣については、本市消防本部該当なし

【平成26年 御嶽山噴火災害】

・平成26年9月27日に発生した御嶽山噴火に伴う救助活動のため、平成26年10月4日から17日ま での間に、緊急消防援助隊愛知県隊として長野県王滝村に派遣隊数3隊(15名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第11次隊	10/4~10/7	救助部隊		活動拠点にて捜索についての情報収集 御岳剣ヶ峰山荘売店付近の捜索
第20次隊	10/11~10/12	救助部隊	5名	御嶽神社頂上奥社及び頂上山荘周辺の捜索
第24次隊	$10/16 \sim 10/17$	救助部隊	5名	派遣期間中に捜索中止が決定

[※] 第11・20・24次隊以外の派遣については、本市消防本部該当なし

〈御嶽山噴火災害に伴う救助活動写真〉



おんたけ2240スキー場に集結した愛知県隊



活動拠点「ロッヂ三笠」



ヘリコプターによる移動



登山による移動



頂上山荘周辺の捜索



頂上山荘周辺の捜索



噴煙が上がる中、捜索する隊員

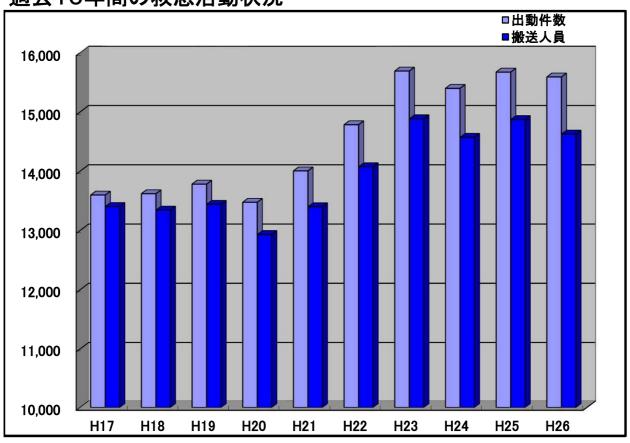


頂上の斜面で、捜索する隊員

数意

数脚

過去10年間の救急活動状況



			(上.	段)出	動件数	/	(下段)	搬送人	 .員			
区	合	火	自	水	交	労	運	_	加	自	急	そ
			然		通	働	動	般		損		の
		***	災	447	事	災	競	負		行		
分	計	災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	他
H17	13,600	13		3	2,051	153	106	1,572	100	144	8,453	1,005
	13,407	9		1	2,418	151	112	1,524	97	122	8,136	837
H18	13,622	31		5	1,957	151	108	1,542	107	170	8,564	987
1110	13,346	35		1	2,279	150	117	1,496	101	143	8,222	802
H19	13,784	31		5	1,948	138	86	1,613	88	160	8,733	982
п19	13,444	17		1	2,278	138	89	1,567	76	118	8,379	781
H20	13,478	100	6	5	1,792	146	96	1,529	85	159	8,427	1,133
1120	12,935	12	1	1	2,012	146	104	1,490	79	119	8,071	900
H21	14,007	101		4	1,707	129	80	1,622	86	181	8,912	1,185
1121	13,403	24		1	1,891	128	83	1,589	80	149	8,547	911
H22	14,786	88		12	1,894	146	104	1,751	72	171	9,430	1,118
1122	14,078	14		1	2,011	146	106	1,698	62	132	9,061	847
H23	15,692	94	2	5	1,846	168	123	1,829	73	169	10,252	1,131
ПДЗ	14,887	15			1,955	167	128	1,773	67	126	9,781	875
H24	15,400	67		11	1,763	156	140	1,807	76	125	10,189	1,066
П24	14,574	17		2	1,846	155	140	1,740	64	92	9,713	805
H25	15,674	63		6	1,812	147	128	1,914	76	153	10,380	995
П∠Э	14,874	8		3	1,902	147	132	1,836	74	107	9,883	782
H26	15,592	71	2	4	1,747	154	111	1,923	60	142	10,289	1,089
1120	14,629	14	2		1,834	154	115	1,844	55	101	9,700	810

曜日•月別救急出動件数

事													その) 他		
	- 火 (至 /) (火	自然	水	交通	労働	運 動	一般	加	自 損	急	転	医	資地	そ	合
`			災		事	災	競競	_収 負		行		院	師	資機材等輸	の	
区分	}	災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	搬	搬	等輸	v	計
												送	送	送	他	
	月	10		2	267	23	6	283	12	23	1,513	126	6	8	30	2,309
	火	13			261	23	4	268	9	14	1,416	126	2	11	24	2,171
曜	水	10		1	272	26	13	237	1	30	1,461	128	3	10	20	2,212
日	木	14			224	20	10	272	12	14	1,456	128	7	12	26	2,195
別	金	9			253	33	15	272	6	28	1,495	143	8	14	19	2,295
	土	6		1	249	23	28	304	14	23	1,416	94	5	17	32	2,212
	日	9	2		221	6	35	287	6	10	1,532	51	4	7	28	2,198
合	計	71	2	4	1,747	154	111	1,923	60	142	10,289	796	35	79	179	15,592
	1月	6			146	11	1	169	4	8	1,001	67		4	13	1,430
	2月	5			153	11	4	172	5	10	840	66		8	13	1,287
	3月	4			137	16	6	157	3	14	846	65		3	11	1,262
	4月	4			140	11	7	156	9	12	810	67	8	5	13	1,242
	5月	14			143	15	8	160	3	14	775	50	26	11	20	1,239
月	6月	5		1	148	10	12	129	5	13	781	55		7	6	1,172
別	7月	9		1	123	19	18	127	5	14	932	66		11	16	1,341
	8月	4	2	1	151	13	9	155	9	9	920	71		4	25	1,373
	9月	7			146	13	20	159	8	14	807	79		9	24	1,286
	10月	3			155	15	12	160	2	14	758	63		6	14	1,202
	11月	3			153	13	11	164	1	6	806	78	1	7	14	1,257
	12月	7		1	152	7	3	215	6	14	1,013	69		4	10	1,501

曜日•月別救急搬送人員

$\overline{}$													
区 分	故種別	火災	自然災害	水	交通事故	労働災害	運 動 競 技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
	月	2			272	23	6	273	11	15	1,435	130	2,167
	火	2			277	23	4	260	8	8	1,337	128	2,047
曜	水				274	26	13	230	1	19	1,377	127	2,067
日	木	4			247	19	10	264	12	12	1,360	132	2,060
別	金	3			261	34	15	256	6	21	1,404	142	2,142
	土				258	23	31	288	11	18	1,336	96	2,061
	日	3	2		245	6	36	273	6	8	1,451	55	2,085
合	計	14	2		1,834	154	115	1,844	55	101	9,700	810	14,629
	1月	2			156	11	1	163	3	5	941	70	1,352
	2月	1			170	11	4	162	5	4	784	67	1,208
	3月				145	16	6	149	3	11	805	65	1,200
	4月	1			144	11	7	149	9	10	766	67	1,164
	5月	5			150	15	8	154	3	11	732	56	1,134
月	6月				154	10	13	123	5	8	733	55	1,101
別	7月	4			127	19	20	120	3	12	882	65	1,252
	8月		2		163	13	10	149	7	6	870	71	1,291
	9月	1			159	14	20	152	8	10	748	81	1,193
	10月				148	14	12	157	2	10	721	65	1,129
	11月				156	13	11	158	1	4	758	79	1,180
	12月				162	7	3	208	6	10	960	69	1,425

地区別救急出動件数

平成26年中

			占	电.	神	<u> </u>	-	合	莽	西	121	沿	-11/-	—	Λ.	र्घा	±+-	千	尾	木	管
`	地区	合	宮	貴	<u>↑</u> ₩	大	向	富	葉	19	丹	浅	北.	大	今 伊	奥	萩	'	上	小	E
	W. TERRI	計									陽	井	方	和	勢		原	秋		Л	
争	 数種別		西	船	山	志	山	士	栗	成	町	町	町	町	町	町	町	町	西	町	外
	合 計	15,592	678	511	835	281	325	581	610	1,360	1,042	852	324	1,730	866	568	727	698	2,252	1,282	70
火	災	71	1		1	1		4	4	5	5	1	3	7	4	5	5	5	15	5	
自	然災害	2		1							1										
水	難	4			1								2							1	
交	通事故	1,747	78	59	81	24	46	88	71	155	139	56	28	225	68	34	69	99	286	134	7
労	働災害	154	3	3	3		5	11	6	9	24	4	1	8	1	4	15	13	30	14	
運	動競技	111	4	5	4		1	7	18	9	3	2		9	8	8		16	11	6	
_	般負傷	1,923	68	73	113	35	53	66	82	157	123	99	49	202	116	80	101	68	254	183	1
加	害	60	3	1	2	4	1	1	3	4	10	3	1	8	5		3	2	5	3	1
自	損行為	142	2	11	4	2	4	4	3	13	19	4	4	14	8	5	6	4	22	13	
急	病	10,289	349	317	604	197	180	383	409	904	691	627	235	1,194	597	381	496	410	1,466	837	12
	転 腕 送	796	82	33	8	13	31	4	8	78	11	38		38	51	41	19	76	139	77	49
その	医搬送	35	1		2			1	1	3	4	2		2	2	3	1	2	8	3	
他	資機材等輸送	79	79																		
	その他	179	8	8	12	5	4	12	5	23	12	16	1	23	6	7	12	3	16	6	

地区別救急搬送人員

																			17X4U	1 1
地区	合	宮	貴	神	大	向	富	葉	西	丹	浅	北	大	今	奥	萩	千	尾	木	管
										陽	井	方	和	伊		原	秋		曽	
事故種別	計			١.		١.	١.							勢	l				川	,, I
		西	船	Щ	志	Щ	士	栗	成	町	町	町	町	町	町	町	町	西	町	外
合 計	14,629	572	489	757	253	307	549	579	1,294	968	779	306	1,651	805	528	696	686	2,123	1,213	74
火 災	14			1			1					1	1	2	1	1	1	3	2	
自然災害	2		1							1										
水 難																				
交通事故	1,835	81	61	80	21	44	97	73	165	141	57	34	258	64	32	78	115	287	138	9
労働災害	154	3	3	3		5	11	6	9	24	4	1	8	1	4	15	13	30	14	
運動競技	115	4	5	4		1	7	18	9	4	3		9	8	8		18	11	6	
一般負傷	1,843	63	70	105	32	52	63	78	151	116	97	49	200	106	78	99	66	242	175	1
加害	55	3	1	2	4		1	3	4	9	3	1	7	5		3	2	3	3	1
自損行為	101	1	9	2	2	4	2	3	10	15	2	2	10	6	5	5	2	16	5	
急 病	9,700	335	306	552	181	170	363	388	868	647	571	218	1,114	561	360	476	393	1,391	794	12
その他	810	82	33	8	13	31	4	10	78	11	42		44	52	40	19	76	140	76	51

現場到着所要時間別救急出動件数

平成26年中

									成20年中
現場到着 所要時間	3	3	5	10	20		現	現	現
		分	分	分		•	場 到	場 到	場 到
	分	以	以	以	分	合	着 最	着最長所	着 平
		上	上	上			短	長	均
	未	5	10	20	以	計	所 要	所 要	所 要
		分	分	分			時	時	時
\	\.H-	未	未	未	r		間(ハ)	間(ハ)	間(ハ)
事故種別	満	満	満	満	上		(分)	(分)	(分)
合 計	252	2,410	11,556	1,361	13	15,592			7.0
合 計 急 病			11,556 7,760		13			21	7.0
	103							21	
急病	103	1,580	7,760 1,307	843	3	10,289	0		7.0

収容所要時間別救急搬送人員

-	-	D 0	~ <i>F</i>	<u> </u>	1
١,	/. F	ヹ゚	16年	⊢ E	Ι
	_ /·/	X Z	6生	т.	Т

収 容 所要時間	10)	10		20		30		60		12	0	合	収	収	収
	分		分 以		分 り		分 り		分 以) 分	}		容最	容最	容 平
),		上 20		上 30		上 60		上 12		/	'		短短	長	均均
	未	È	分		分		分	>	分		E)	Ļ		所	所	所
	満	i	未満	:	未満	:	未満	: :	未満	: :	上	•	計	要	要	要
	1144	う	11144		1144		1144		1144	う		う	н	時	時	時
		ち管外		うち管外		うち管外		うち管外		ち管外		ち管外		間 (分)	間(八)	間(八)
事故種別		外		外		外		外		外		外		(37)	(分)	(分)
合 計	2		1,482	25	8,229	497	4,834	706	76	29	6	2	14,629			27.6
急病			968	15	5,529	333	3,150	399	48	19	5	1	9,700	10	159	27.5
交通事故	2		171	4	943	54	709	101	9	1			1,834	7	78	28.6
一般負傷			178	4	1,045	79	620	68	1				1,844	12	87	27.5
その他			165	2	712	31	355	138	18	9	1	1	1,251	11	122	27.8

年龄区分-傷病程度別救急搬送人員

平成26年中

事故種別 合 大 自 水 交 労 選 一 加 自 点 で で で で で で で で で													十八八乙	
合計 14,629		事故種別	合	火	自然	水	通	働	動		加	損	急	
### 1,069	区(分	計	災	災害	難	事 故 ———————————————————————————————————	災害	競技	負傷	害	行為	病	
### 1,069		合 計	14,629	14	2		1,834	154	115	1,844	55	101	9,700	810
### 1,069	슈	死 亡	308				4			17		23	262	2
計算 軽症 7,409 12 1 1,361 80 80 1,109 36 30 4,596 104 ボード (日本) 小計 101 1 1 1 1 10 89 ボード (日本) 101 4 7 5 4 4 7 2 4 7 2 1 1 2 2 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1		重症	1,069				41	8		44	3	17	783	173
その他	l	中等症	5,843	2	1		428	66	35	674	16	31	4,059	531
新 死 亡 1	計	軽 症	7,409	12	1		1,361	80	80	1,109	36	30	4,596	104
新 死 亡 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1		その他												
重症 10 <		小 計	101				1			1			10	89
中等症 79	新	死 亡	1										1	
照 接症 11	<i>#</i> -	重 症	10											10
その他	土	中等症	79										4	75
小計 669	児	軽 症	11				1			1			5	4
死亡 2 1 2 2 重症 9 4 4 1 4 3 5 中等症 196 7 24 1 147 18 野鹿 462 48 129 1 278 6 その他 225 80 79 3 6 226 17 死亡 2 2 1 1 1 5 中等症 159 39 20 22 1 68 9 軽症 465 184 60 56 3 2 157 3 その他 7 1 1 1 1 1 1 9 30 死亡 4 3 3 1 3 4 67 2,975 205 水計 4,836 10 1 1,059 123 31 323 42 67 2,975 205 死亡 4 3 3 1 9 30 30 1 1 1 <th></th> <th>その他</th> <th></th>		その他												
### 196		小 計	669				55			154	1		430	29
中等症 196	乳	死 亡	2										2	
甲等症 196	ν. μ.	重 症	9							1			3	5
その他	3/1	中等症	196				7			24			147	18
小計 636 225 80 79 3 6 226 17 年 2 1 1 1 1 1 5 中等症 159 39 20 22 1 68 9 軽症 465 184 60 56 3 2 157 3 成 1 1,059 123 31 323 42 67 2,975 205 成 43 3 1 3 1 9 30 重症 232 19 7 3 3 10 153 37 中等症 1,565 2 1 220 51 13 91 13 25 1,025 124 軽症 2,996 8 817 65 18 228 26 23 1,767 44 その他 7 1 494 31 4 1,287 9 28 6,059 470 高 重症 808 20 1 39 6 626 116 市等症 3,844 162 15 2 537 3 5 2,8	児	軽 症	462				48			129	1		278	6
死亡 2 日本 日本 <t< th=""><th></th><th>その他</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></t<>		その他												
重症 10 2 1 1 1 5 中等症 159 39 20 22 1 68 9 軽症 465 184 60 56 3 2 157 3 その他 1 1,059 123 31 323 42 67 2,975 205 死亡 43 3 3 1 9 30 3 中等症 1,565 2 1 220 51 13 91 13 25 1,025 124 軽症 2,996 8 817 65 18 228 26 23 1,767 44 その他 4 4 4 1,287 9 28 6,059 470 高 死亡 260 1 494 31 4 1,287 9 28 6,059 470 高 死亡 260 1 494 31 4 1,287 9 28 6,059 470 事 至 <t< th=""><th></th><th>小 計</th><th>636</th><th></th><th></th><th></th><th>225</th><th></th><th>80</th><th>79</th><th>3</th><th>6</th><th>226</th><th>17</th></t<>		小 計	636				225		80	79	3	6	226	17
垂症 10 2 1 1 1 5 中等症 159 339 20 22 1 68 9 軽症 465 184 60 56 3 2 157 3 その他 10 1 1,059 123 31 323 42 67 2,975 205 死亡 43 3 3 1 9 30 重症 232 19 7 3 3 10 153 37 中等症 1,565 2 1 220 51 13 91 13 25 1,025 124 その他 8 817 65 18 228 26 23 1,767 44 その他 9 28 6,059 470 高 死亡 260 1 494 31 4 1,287 9 28 6,059 470 高 重症 808 20 1 39 6 626 116 中等症 3,844 162 15 2 537 3 5 2,815 305 者 軽症 3,475 4 1	小	死 亡	2									2		
軽症 465 184 60 56 3 2 157 3 成 小計 4,836 10 1 1,059 123 31 323 42 67 2,975 205 大 43 3 19 7 3 3 10 153 37 中等症 1,565 2 1 220 51 13 91 13 25 1,025 124 軽症 2,996 8 817 65 18 228 26 23 1,767 44 その他 4 4 4,287 9 28 6,059 470 高 死亡 260 1 494 31 4 1,287 9 28 6,059 470 高 死亡 260 1 3 3 4 12 229 2 重症 808 20 1 39 6 6 626 116 中等症 3,844 162 15 2 537<		重 症	10				2			1		1	1	5
軽売 465 184 60 56 3 2 157 3 2 205 3 2 157 3 3 3 3 3 3 3 3 3		中等症	159				39		20	22		1	68	9
小計 4,836 10 1 1,059 123 31 323 42 67 2,975 205 205 交 亡 43 3 3 3 1 1 9 30 1 1 1 1 1 1 1 1 1	牛	軽 症	465				184		60	56	3	2	157	3
成 死亡 43 3 1 9 30 重症 232 19 7 3 3 10 153 37 中等症 1,565 2 1 220 51 13 91 13 25 1,025 124 軽症 2,996 8 817 65 18 228 26 23 1,767 44 その他 4 4 494 31 4 1,287 9 28 6,059 470 高 死亡 260 1 494 31 4 1,287 9 28 6,059 470 高 死亡 260 1 494 31 4 1,287 9 28 6,059 470 高 死亡 260 1 494 31 4 1,287 9 28 6,059 470 高 重症 808 20 1 39 6 626 116 中等症 3,844 162 15 2 537 3 5 2,815 305 者 軽症 3,475 4 1 311 15 2 695 6 5		その他												
重症 232 19 7 3 3 10 153 37 中等症 1,565 2 1 220 51 13 91 13 25 1,025 124 軽症 2,996 8 817 65 18 228 26 23 1,767 44 その他		小 計	4,836	10	1		1,059	123	31	323	42	67	2,975	205
重症 232 19 7 3 3 10 153 37 中等症 1,565 2 1 220 51 13 91 13 25 1,025 124 軽症 2,996 8 817 65 18 228 26 23 1,767 44 その他 4 4 494 31 4 1,287 9 28 6,059 470 高 死亡 260 1 494 31 4 1,287 9 28 6,059 470 市 死亡 260 1 494 31 4 1,287 9 28 6,059 470 市 死亡 260 1 39 6 626 116 中等症 3,844 162 15 2 537 3 5 2,815 305 者 軽症 3,475 4 1 311 15 2 695 6 5 2,389 47	成	死 亡	43				3			1		9	30	
軽症 2,996 8 817 65 18 228 26 23 1,767 44 その他 4 4 4 1,287 9 28 6,059 470 高 死亡 260 1 494 31 4 1,287 9 28 6,059 470 事 至 260 1 16 12 229 2 事 20 1 39 6 626 116 中等症 3,844 162 15 2 537 3 5 2,815 305 者 軽症 3,475 4 1 311 15 2 695 6 5 2,389 47	'''	重症	232				19	7		3	3	10	153	37
程 定 2,990 8 817 05 18 228 20 25 1,707 年 その他	,	中等症	1,565	2	1		220	51	13	91	13	25	1,025	124
小計 8,387 4 1 494 31 4 1,287 9 28 6,059 470 原 亡 260 1 1 16 12 229 2 重 症 808 20 1 39 6 626 116 中等症 3,844 162 15 2 537 3 5 2,815 305 者 軽 症 3,475 4 1 311 15 2 695 6 5 2,389 47	人	軽 症	2,996	8			817	65	18	228	26	23	1,767	44
高 死亡 260 1 16 12 229 2 重症 808 20 1 39 6 626 116 中等症 3,844 162 15 2 537 3 5 2,815 305 者 軽症 3,475 4 1 311 15 2 695 6 5 2,389 47														
邮 重症 808 20 1 39 6 626 116 中等症 3,844 162 15 2 537 3 5 2,815 305 者 軽症 3,475 4 1 311 15 2 695 6 5 2,389 47		小 計	8,387	4	1		494	31	4	1,287	9	28	6,059	470
中等症 3,844 162 15 2 537 3 5 2,815 305 者 軽症 3,475 4 1 311 15 2 695 6 5 2,389 47	高		260				1			16		12	229	2
中等症 3,844 162 15 2 537 3 5 2,815 305 者 軽症 3,475 4 1 311 15 2 695 6 5 2,389 47	龄	重 症	808				20	1		39		6	626	116
	ធារ		3,844				162	15	2	537	3	5	2,815	305
その他	者		3,475	4	1		311	15	2	695	6	5	2,389	47
		その他												

新

児 : 生後28日未満の者 児 : 生後28日以上、満7歳未満の者 年 : 満7歳以上、満18歳未満の者 人 : 満18歳以上、満65歳未満の者 者 : 満65歳以上の者 乳少成

高

救急高度化の推移

区	分		平 成 22 年	平 成 23 年	平 成 24 年	平 成 25 年	平成 26 年
一宫	市 人	П	385,772	386,132	386,390	386,447	386,429
救 急 出	動件	数	14,786	15,692	15,400	15,674	15,592
人口1万人当	たりの出動件	数	383	406	399	406	403
高規格救急	車運用台	数	10	10	10	11	11
救 急 救	命 士	数	72	76	80	82	82
気 管 挿 管	救 命 士	数	10	11	12	13	14
薬剤投与	救 命 士	数	39	45	52	57	59
救 急 搬 送	人 員 (A)	14,078	14,887	14,574	14,874	14,629
心肺停止傷病	者搬送人員(В)	356	388	368	367	392
 救急隊により心肺機能 目撃された心肺停止性	を停止の時点が) ((裏病者搬送 員 ((C)	(29)	(19)	(29)	(33)	(25)
バイスタンダ			198	247	238	233	264
心肺停止傷病者	↑搬送率%(B/	A)	2.5	2.6	2.5	2.5	2.7
バイスタンダー〇	CPR 実 施 率 % (D	/B)	55.6	63.7	64.7	63.5	67.3
教急隊により心肺機能停止(心肺停止傷病者を除くバイスク	の時点が目撃された タンダーCPR実施率% (D/(B-C))	(60.6)	(66.9)	(70.2)	(69.8)	(71.9)

一 宮 市 人 口 : 各年の4月1日現在

気 管 挿 管 救 命 士 : 医師の具体的指示下において気管挿管の処置を行うことができる救命士 薬 剤 投 与 救 命 士 : 医師の具体的指示下において薬剤投与の処置を行うことができる救命士

バ イ ス タ ン ダ ー C P R : 居合わせた人による心肺蘇生法等の一次救命処置 (胸骨圧迫、人工呼吸などが実施されていたもの)

救急隊員の行った応急処置等件数

対	*4 1 3 1
中 中 中 中 中 中 中 中 中 中	1
大	1
合計 14,566 67,822 247 2,442 133 394 3,535 729 21 38 192 死亡 308 1,637 1 13 6 304 302 305 11 20 150 重症 1,064 5,757 9 78 82 88 732 231 6 16 42 中等症 5,818 27,632 64 838 42 2 1,815 147 4 2 軽症 7,376 32,796 173 1,513 3 686 46	1 3
元 亡 308 1,637 1 13 6 304 302 305 11 20 150 重症 1,064 5,757 9 78 82 88 732 231 6 16 42 中等症 5,818 27,632 64 838 42 2 1,815 147 4 2 長 中等症 7,376 32,796 173 1,513 3 686 46 4 2 表の他 小 計 9,694 45,186 62 237 114 324 2,718 614 17 23 175 死亡 262 1,402 1 1 6 259 257 260 10 15 139 重症 4,055 19,427 14 88 38 1 1,409 130 3 その他 小 計 1,818 8,920 29 1,252 </th <th>1 3</th>	1 3
重症 1,064 5,757 9 78 82 88 732 231 6 16 42 中等症 5,818 27,632 64 838 42 2 1,815 147 4 2 移産 元 7,376 32,796 173 1,513 3 686 46	3
重症 1,064 5,757 9 78 82 88 732 231 6 16 42	1
計 軽 症 7,376 32,796 173 1,513 3 6866 46 小計 9,694 45,186 62 237 114 324 2,718 614 17 23 175 死 亡 262 1,402 1 1 6 259 257 260 10 15 139 重 症 783 4,338 1 10 67 64 549 185 4 8 36 中等症 4,055 19,427 14 88 38 1 1,409 130 3 平等症 4,594 20,019 46 138 3 503 39 その他 水計 1,818 8,920 29 1,252 2 4 260 9 死 亡 4 22 3 3 4 4 4 4 4 4 重 症 41 272 1 39 2 34 5 中等症 427 2,338 8 339 123 軽 症 1,346 6,288 20 871 99	
軽症 7,376 32,796 173 1,513 3 686 46	
小 計 9,694 45,186 62 237 114 324 2,718 614 17 23 175 死 亡 262 1,402 1 1 6 259 257 260 10 15 139 重 症 783 4,338 1 10 67 64 549 185 4 8 36 中等症 4,055 19,427 14 88 38 1 1,409 130 3 軽 症 4,594 20,019 46 138 3 503 39 その他	
無	
意 症 783 4,338 1 10 67 64 549 185 4 8 36 中等症 4,055 19,427 14 88 38 1 1,409 130 3 平 症 4,594 20,019 46 138 3 503 39 での他 アル 計 1,818 8,920 29 1,252 2 4 260 9 アル 亡 4 22 3 4 4 4 4 年 重 症 41 272 1 39 2 34 5 中等症 427 2,338 8 339 123 平等症 427 2,338 8 339 123 平等症 41,346 6,288 20 871 99	1
重症 783 4,338 1 10 67 64 549 185 4 8 36 中等症 4,055 19,427 14 88 38 1 1,409 130 3 平	
軽症 4,594 20,019 46 138 3 503 39 その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
軽症 4,594 20,019 46 138 3 503 39 その他	
小計 1,818 8,920 29 1,252 2 4 260 9 死亡 4 22 3 4 4 4 重症 41 272 1 39 2 34 5 中等症 427 2,338 8 339 123 軽症 1,346 6,288 20 871 99	
死亡 4 22 3 4 4 4 重症 41 272 1 39 2 34 5 中等症 427 2,338 8 339 123 軽症 1,346 6,288 20 871 99	
交通 重症 41 272 1 39 2 34 5 事故 中等症 427 2,338 8 339 123 軽症 1,346 6,288 20 871 99	
故 軽 症 1,346 6,288 20 871 99	
故 軽 症 1,346 6,288 20 871 99	
軽症 1,346 6,288 20 871 99	
その他	
小 計 1,830 8,554 116 792 10 34 164 50 2 14 9	3
_ 死亡 17 84 17 16 17 4 6	
般 重 症 44 256 1 18 7 16 27 18 2 8 3	3
自 中等症 672 3,183 25 351 3 1 74 10 2	
軽症 1,097 5,031 90 423 47 5	
その他	
小 計 1,224 5,162 40 161 7 32 393 56 2 1 8	
死亡 25 129 9 24 25 24 1 1 5	
その 重症 196 891 6 11 6 8 122 23 3	
他 中等症 664 2,684 17 60 1 209 7 1	
軽 症 339 1,458 17 81 37 2	
その他	

- ※1 経鼻エアウエイを使用しての気道確保
- ※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去
- ※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、 ラリンゲアルマスク等を使用しての気道確保
- ※4 気管挿管による気道確保

												半成2	
			保	被	在	除	静	そ	<u>ш</u> .	心	血	心	薬
					宅		脈		圧	音	中酸		剤
区	,	分				細	路	の		呼	酸素飽	電	
					療		確		測	吸	飽和		投
			温	覆	法	動	保	他	定	音	度	図	与
	合	計	104	978	143	37	90	13,787	13,894	4,872	14,162	12,225	50
	死	亡	1	1	1	19	54	232	24	25	26	293	30
合	重	症	12	24	29	18	35	967	985	435	1,002	1,010	20
-L	中等	9 症	48	278	87		1	5,542	5,683	2,153	5,802	5,130	
計	軽	症	43	675	26			7,046	7,202	2,259	7,332	5,792	
	そ0)他											
	小	計	51	62	130	36	80	9,471	9,264	3,703	9,377	8,896	47
	死	亡	1		1	18	50	202	23	21	25	248	29
急	重	症	10	4	28	18	29	747	737	362	738	771	18
一	中等	争症	27	22	80		1	4,006	4,007	1,737	4,045	3,822	
病	軽	症	13	36	21			4,516	4,497	1,583	4,569	4,055	
	その)他											
	小	計	4	285				1,625	1,784	726	1,807	1,133	
	死	亡						3				4	
交通事故	重	症		4				39	40	31	40	37	
事	中等	争症	3	92				394	425	200	425	329	
以	軽	症	1	189				1,189	1,319	495	1,342	763	
	その)他											
	小	計	20	508	10		8	1,707	1,756	257	1,789	1,331	2
	死	亡					3	11		2		17	1
般	重	症		4			5	37	36	9	36	41	1
負 傷	中等	争症	5	115	5			623	664	112	671	524	
1 易 	軽	症	15	389	5			1,036	1,056	134	1,082	749	
	その)他											
	小	計	29	123	3	1	2	984	1,090	186	1,189	865	1
	死	亡		1		1	1	16	1	2	1	24	
その	重	症	2	12	1		1	144	172	33	188	161	1
他	中等	争症	13	49	2			519	587	104	661	455	
	軽	症	14	61				305	330	47	339	225	
	その)他											
									•		•	•	

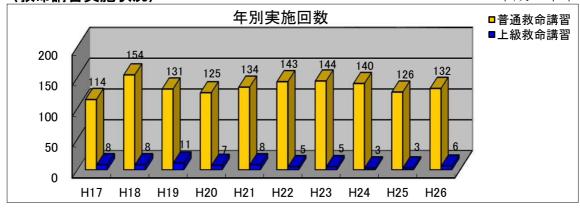
高速道路の救急活動状況

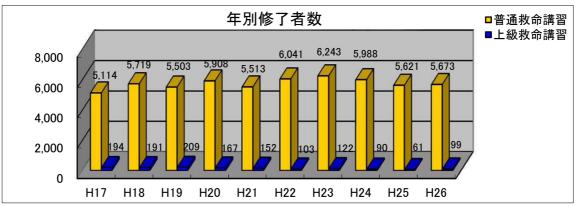
区		分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	平成2 11月	12月
	合	計	83	4	4	8	6	9	4	5	15	6	9	8	5
		交通事故	62	2	4	4	5	6		4	13	4	9	7	4
出		急病	14	2		2	1	2	1	1	2	1		1	1
	事 故	一般負傷	2						1			1			
動	種別	火 災	3			1		1	1						
		加害	1						1						
件		労働災害	1			1									
	地	市内	72	3	4	7	3	8	2	5	15	5	7	8	5
数		市外	2			1		1							
		県 外	9	1			3		2			1	2		
	不	搬送	10	1		2	1	1	1		2			2	
	合	計	98	3	4	10	9	9	3	6	19	6	14	9	6
		交通事故	80	1	4	7	8	7		5	17	4	14	8	5
		急病	14	2		2	1	2	1	1	2	1		1	1
搬	事故種	一般負傷							1			1			
	別	火 災													
送		加害	1						1						
		労働災害	1			1									
人	性	男	66	3	3	4	5	5	3	5	10	5	11	7	5
,	別	女	32		1	6	4	4		1	9	1	3	2	1
1		死 亡													
員	傷病	重症	3						1	1	1				
	傷病程度別	中等症	24	1	1	4	1	3		1	2	4	2	2	3
	別	軽 症		2	3	6	8	6	2	4	16	2	12	7	3
		その他													

応急手当等の普及活動状況

〈救命講習実施状況〉

平成26年中





〈一般救急講習実施状況〉

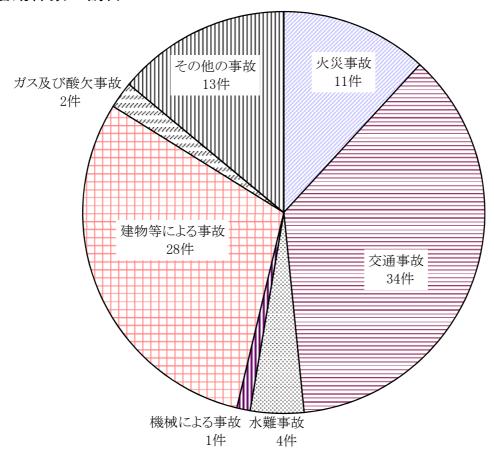
区	分	合 計	学 校	保 育 園 幼 稚 園	防災会	各種団体	事業所	その他
平成17年	実施回数	137	72	6	3	32	24	
十八八十	参加人員	6,900	3,837	109	457	1,693	804	
平成18年	実施回数	182	77	1	21	45	38	
十八八10十	参加人員	8,573	4,306	20	1,000	2,114	1,133	
平成19年	実施回数	155	71	5	20	29	25	5
十八八19十	参加人員	6,188	3,275	108	782	1,229	663	131
平成20年	実施回数	186	75	4	6	53	33	15
十八人20千	参加人員	7,729	3,244	46	1,428	1,953	725	333
平成21年	実施回数	225	62	6	14	92	37	14
十八八21十	参加人員	8,095	2,611	112	544	3,641	940	247
平成22年	実施回数	220	78	5	20	70	37	10
十八八乙乙十	参加人員	9,987	3,762	86	2,606	2,318	1,000	215
平成23年	実施回数	210	80	13	27	54	34	2
十八八乙〇十	参加人員	8,609	3,191	283	1,705	1,542	878	1,010
平成24年	実施回数	232	89	12	31	55	44	1
十八八八十	参加人員	10,156	3,999	234	3,052	1,898	930	43
平成25年	実施回数	237	88	9	31	60	45	4
十八八八十	参加人員	8,042	3,373	125	1,645	1,605	1,191	103
亚出96年	実施回数	270	95	9	42	65	57	2
平成26年	参加人員	12,483	4,584	176	4,183	2,265	1,249	26

救助活動状況

平成26年中

							1 132,20 - 1	
区分		出動件数	出	動	活動件数	活動人員	救助人員	
			台 数	人 員	百割件数	伯男八貝	10000000000000000000000000000000000000	
合 1	H	196	1,343	5,556	93	950	77	
火災事	故	55	745	3,388	11	124	2	
交 通 事	故	56	244	885	34	342	40	
水難事	故	4	24	78	4	62		
自然災害・風ス	水害							
機械による事	事故	3	12	44	1	14	1	
建物等による事	事故	45	181	667	28	258	22	
ガス及び酸欠事	事故	2	10	37	2	15		
破裂事	故							
その他の事	故	31	127	457	13	135	12	

活動件数の割合



月別救助出動状況

平成26年中

				A =1		o H	o H			о П		o H	6 H		- 月又, 20	
	<u> </u>	<u> </u>	分	合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	合	計	出動件数	196	15	16	11	20	21	12	21	14	17	12	17	20
		PI	出動人員	5,556	516	416	249	496	890	388	430	401	577	269	385	539
火	災	事故	出動件数	55	6	4	2	4	12	3	3	4	7	1	3	6
	火	尹 贝	出動人員	3,388	378	233	119	253	744	251	158	247	431	90	161	323
杏	交通	事故	出動件数	56	5	5	3	7	5	4	4	2	4	5	6	6
文		尹,见	出動人員	885	76	82	44	108	86	67	63	27	58	84	100	90
→ v	水 難	事。故	出動件数	4							1	1		1		1
小		尹 贝	出動人員	78							10	23		22		23
白ゟ	4 h /// e>	. 国 水 生	出動件数													
H ?	自然災害・風		出動人員													
±61≤ -	 	- フ 市 も	出動件数	3				2		1						
/茂/	機械による事故		出動人員	44				29		15						
Z .1. #	加学)で	よる事故	出動件数	45	2	3	2	5	1	2	6	4	5	4	4	7
建1	勿守に	よの争り	出動人員	667	30	44	29	77	14	31	89	59	73	59	59	103
<i>\(\tau \)</i>		出動件数	2			1				1						
	ガス及び酸欠事点		出動人員	37			15				22					
ᅔᆎᅠᆓᄖ	± +	出動件数														
11/文	破 裂	事。故	出動人員													
7 0 11: 3	の事も	出動件数	31	2	4	3	2	3	2	6	3	1	1	4		
その他(Vノ ず ヴ 	出動人員	457	32	57	42	29	46	24	88	45	15	14	65	

過去5年間の救助活動状況

区			分	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
出	動	件	数	195	214	163	193	196
活	動	件	数	88	99	67	88	93
活	動	人	員	1,018	1,063	732	967	950
救	助	人	員	76	90	67	86	77

救助訓練等実施状況

平成26年度中

(陸上)

8月1・4・6~8・11日 解体予定建物を活用した消防訓練 (県営浅井住宅3棟) 9月14・15日 警察と消防救助隊との合同訓練 (一宮市役所尾西庁舎 西館) (冨田字砂原地内 木曽川及び左岸河川敷) 9月18日 愛知県防災航空隊と一宮市消防本部との合同訓練 (名古屋鉄道犬山検査場) 鉄道事故災害救助研修 12月4.5日 第17回全国消防救助シンポジウム (東京都 日比谷公会堂) 12月19日 3月9日 車両構造講習会及び訓練会(新幹線) (ジェイアールセントラルタワーズ大会議室、名古屋車両所)

(水難)

(/)、类正/		
4月14日	救命ボート取扱操縦訓練	(奥町字堤下一地内 木曽川左岸)
4月14・21日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
4月17日	救命ボート取扱操縦訓練	(北方町北方字神明地内 木曽川左岸)
5月7•8日	潜水基本技術訓練	(航空自衛隊小牧基地体育訓練施設)
5月12・19日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
5月16日	一宮警察署、一宮市消防本部合同災害警備訓	練(風水害) (冨田字砂原地内 木曽川左岸)
5月19・26日	救命ボート取扱操縦訓練	(北方町北方字神明地内 木曽川左岸)
5月21日	3消防本部合同水難救助訓練	(奥町字堤下一地内 木曽川左岸)
5月28日	尾張西北部消防合同水難救助訓練	(犬山市大字犬山地内 木曽川左岸)
6月16・23日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
6月30日	水難救助訓練(水面救助訓練)	(北方町北方字神明地内 木曽川)
7月1日	水難救助訓練(水面救助訓練)	(北方町北方字神明地内 木曽川)
7月22日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
8月18日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
9月1~4日	警防隊、救助隊の水面救助訓練及びDランク選抜隊	検員潜水訓練 (冨田字砂原地内 尾西プール)
9月4・8・10・29日	潜水基本技術訓練	(冨田字砂原地内 木曽川左岸)
9月16・17日	各種検索訓練	(冨田字砂原地内 木曽川左岸)
9月22日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
10月20日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
11月10・25日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
12月1•2•10•11日	航空自衛隊小牧基地潜水訓練	(航空自衛隊小牧基地体育訓練施設)
12月15日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
1月19・26日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
2月16・23日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
3月16・23日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	(若竹3丁目地内 一宮市温水プール)
3月17・18日	ドライスーツ潜水訓練	(冨田字砂原地内 木曽川左岸)

消 防 五 則

確 自 保 分 します \mathcal{O} 安 全 は ま ず 自 分 カン 5

平 素 カン 5 業務 耐える気力、

沈 1 体 着 力 カン 冷静な行動をとります な 錬成 る 事 態 ま 12 お 1 7 ŧ

> 平成2年1月1日 制定

制定主旨

災

害現

は

危

険

が

伴うことを

覚

常に警戒心

を保持します

各

種

資

器

材

 \mathcal{O}

機

能

性

能

を

把

握

安全操作に習熟

ま

「市民の生命・身体及び財産を災害から守る」という消防の 組織目標であり重大な使命の遂行には、常に安全に対する 配慮と認識が重要です。

安全管理は、任務遂行を前提とする積極的行動対策と考え 制定しました。

消防年報 (第65号) 2015 年版

平成27年7月発行

編集·発行

一宮市消防本部総務課

7491-0862

一宮市緑1丁目1番10号

TEL 0586-72-1191

FAX 0586-71-1191



一宮市消防本部《昭和23年創設》



一宮市マスコットキャラクター 「いちみん」消防 Ver.